

生涯学習に関するアンケート 集計結果

—平成26年3月31日—

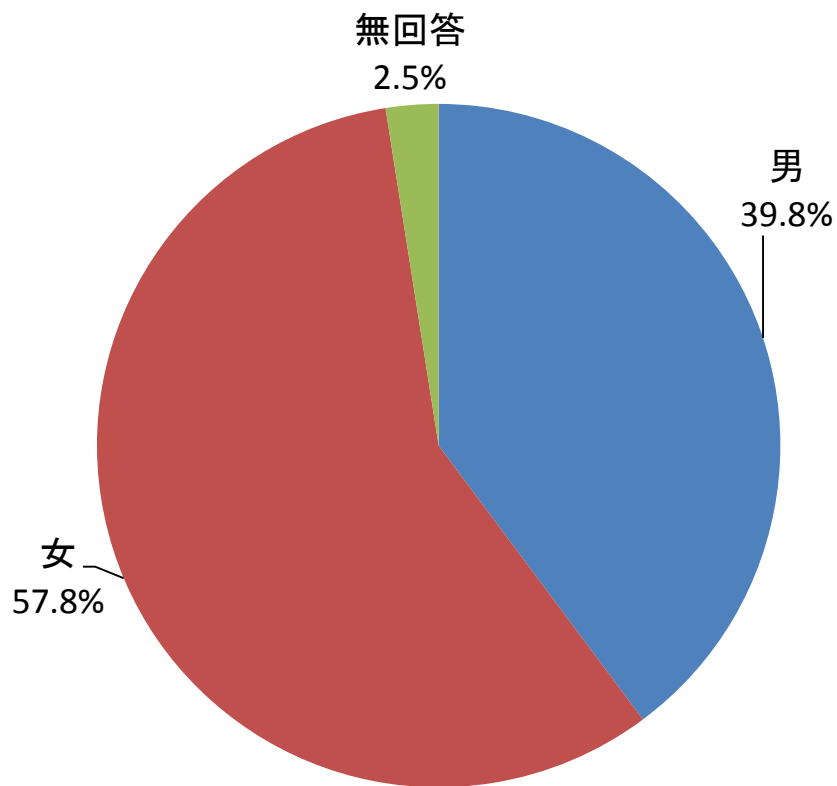
立川市教育委員会
生涯学習推進センター

調査概要

- 調査名： 生涯学習に関するアンケート
- 実施期間： 平成25年10月1日～
平成25年10月18日（消印有効）
- 対象者： 市内在住18歳以上の市民2,000人
- 回答者： 606人（回収率30.3%）

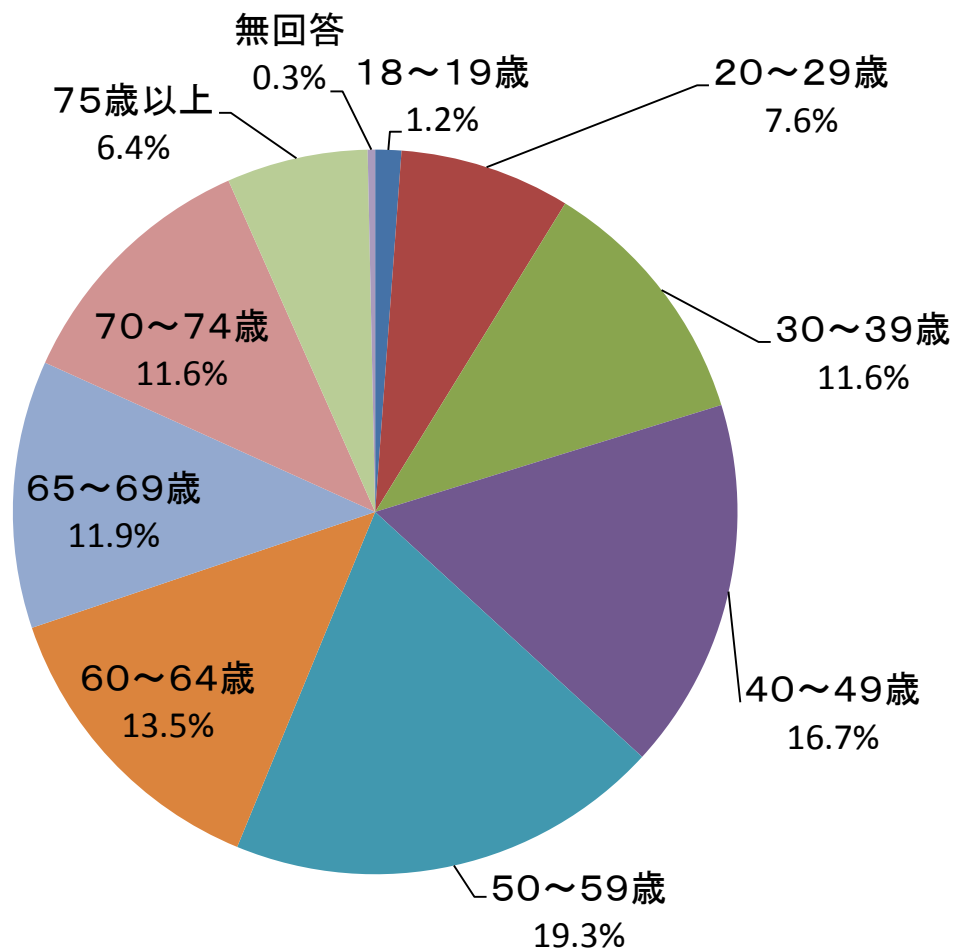
1 あなたの性別についてお聞かせください。

		回答数	構成比
(1)	男	241	39.8%
(2)	女	350	57.8%
	無回答	15	2.5%
	計	606	100.0%



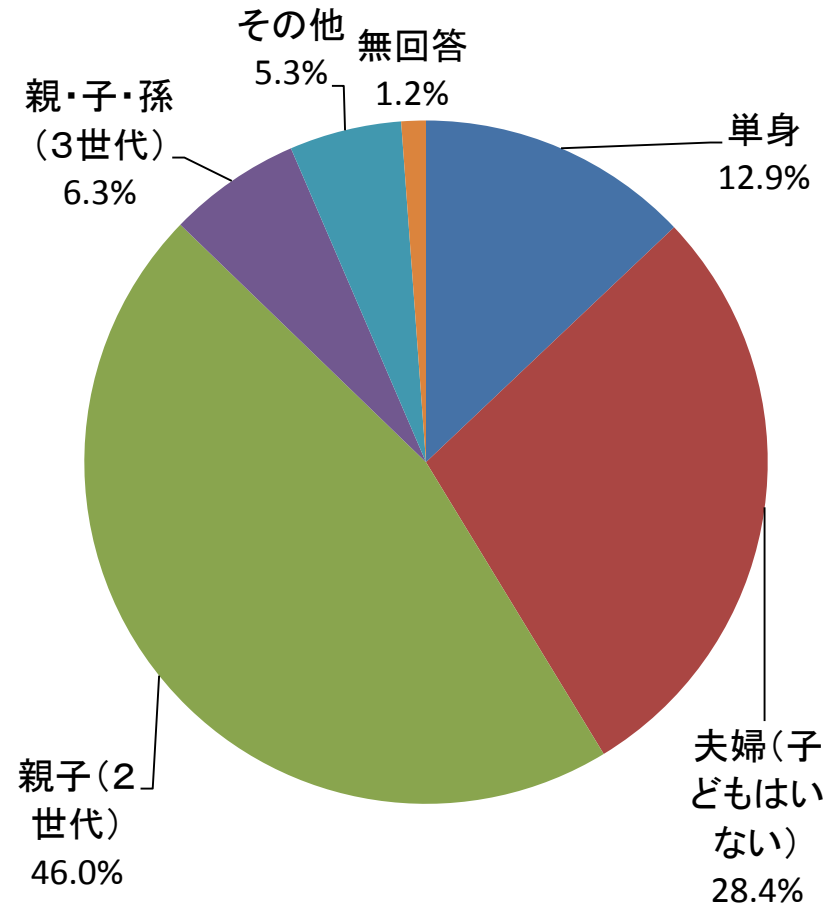
2 あなたの年齢についてお聞かせください。

		回答数	構成比
(1)	18～19歳	7	1.2%
(2)	20～29歳	46	7.6%
(3)	30～39歳	70	11.6%
(4)	40～49歳	101	16.7%
(5)	50～59歳	117	19.3%
(6)	60～64歳	82	13.5%
(7)	65～69歳	72	11.9%
(8)	70～74歳	70	11.6%
(9)	75歳以上	39	6.4%
	無回答	2	0.3%
	計	606	100.0%



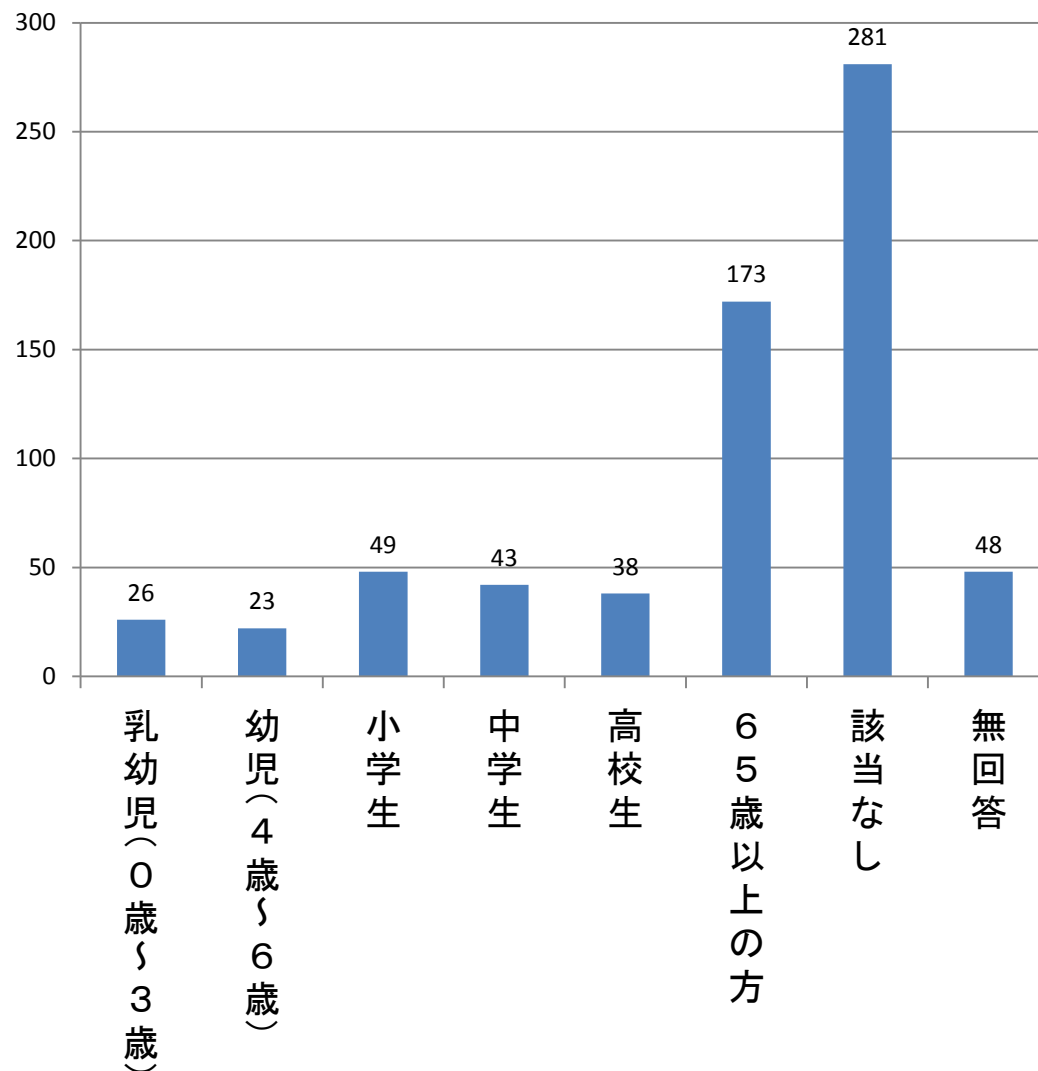
3 あなたと同居する家族の構成についてお聞かせください。

	回答数	構成比
(1) 単身	78	12.9%
(2) 夫婦(子どもはいない)	172	28.4%
(3) 親子(2世代)	279	46.0%
(4) 親・子・孫(3世代)	38	6.3%
(5) その他	32	5.3%
無回答	7	1.2%
計	606	100.0%



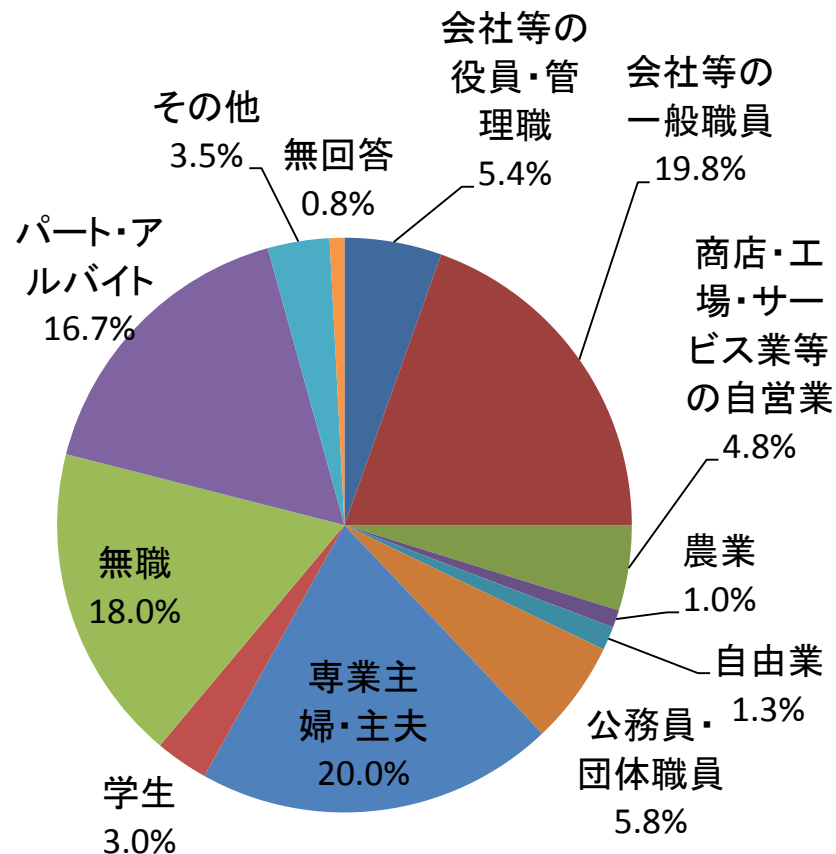
4 あなたと同居する家族(あなたは除く)に、次の方はいますか。(複数選択)

	回答数
(1) 乳幼児(0歳～3歳)	26
(2) 幼児(4歳～6歳)	23
(3) 小学生	49
(4) 中学生	43
(5) 高校生	38
(6) 65歳以上の方	173
(7) 該当なし	281
無回答	48
計	681



5 あなたの職業について、お聞かせください。

	回答数	構成比
(1)会社等の役員・管理職	33	5.4%
(2)会社等の一般職員	120	19.8%
(3)商店・工場・サービス業等の自営業	29	4.8%
(4)農業	6	1.0%
(5)自由業	8	1.3%
(6)公務員・団体職員	35	5.8%
(7)専業主婦・主夫	121	20.0%
(8)学生	18	3.0%
(9)無職	109	18.0%
(10)パート・アルバイト	101	16.7%
(11)その他	21	3.5%
無回答	5	0.8%
計	606	100.0%

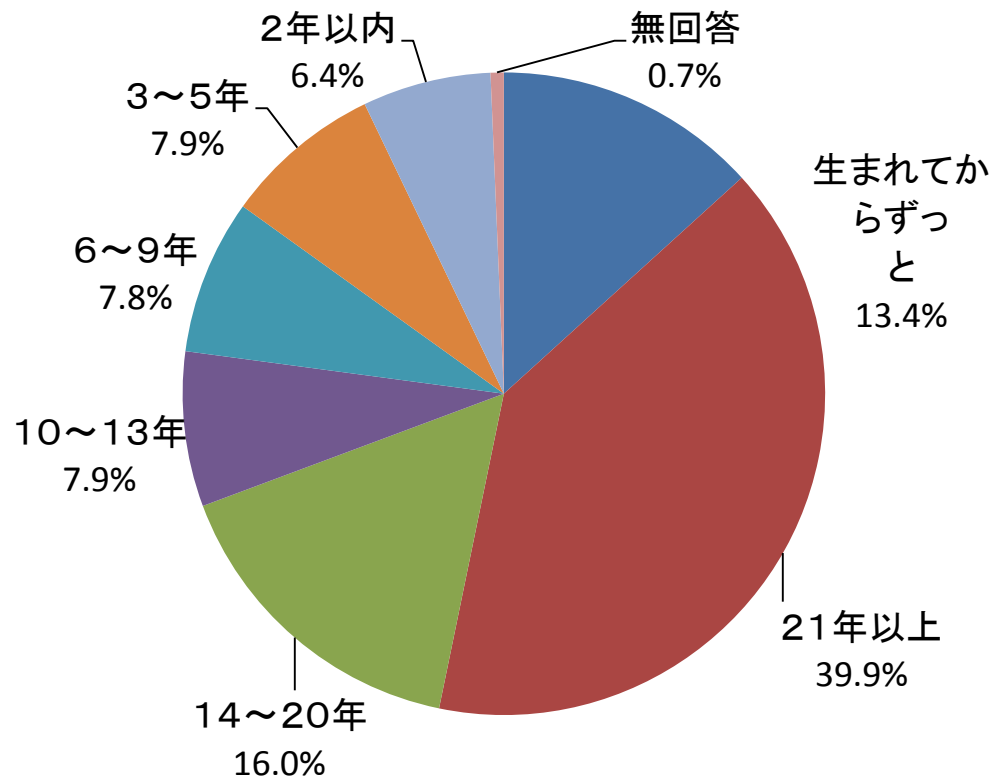


<その他自由記述>

自営業、情報キャスター、幼稚園教諭、生活保護、医療従事、少々の家賃収入、電気工事業、契約社員、ケア・ワーカー、浪人、塾経営、看護師、時々パート、委託員、勤務医、契約社員

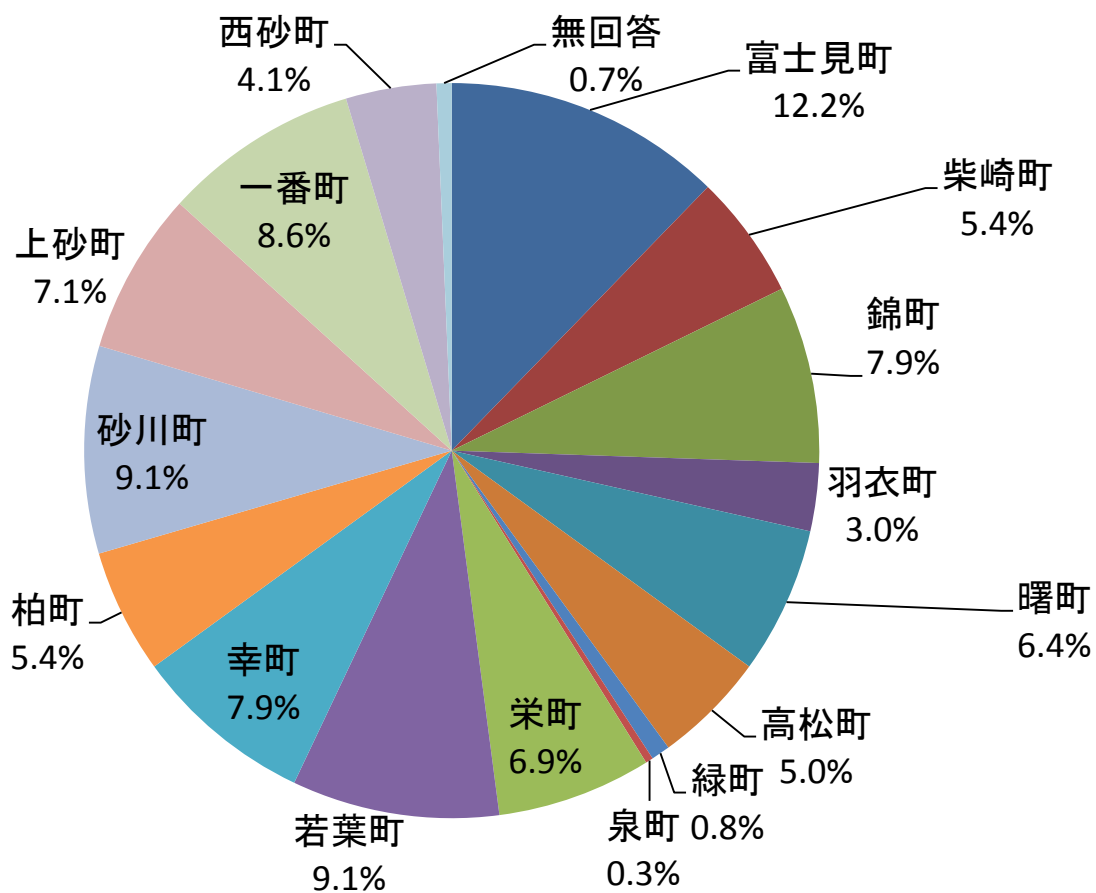
6 あなたの立川市での居住年数についてお聞かせください。

		回答数	構成比
(1)	生まれてからずっと	81	13.4%
(2)	21年以上	242	39.9%
(3)	14～20年	97	16.0%
(4)	10～13年	48	7.9%
(5)	6～9年	47	7.8%
(6)	3～5年	48	7.9%
(7)	2年以内	39	6.4%
	無回答	4	0.7%
	計	606	100.0%



7 あなたのお住まいの地区についてお聞かせください。

	回答数	構成比
(1)富士見町	74	12.2%
(2)柴崎町	33	5.4%
(3)錦町	48	7.9%
(4)羽衣町	18	3.0%
(5)曙町	39	6.4%
(6)高松町	30	5.0%
(7)緑町	5	0.8%
(8)泉町	2	0.3%
(9)栄町	42	6.9%
(10)若葉町	55	9.1%
(11)幸町	48	7.9%
(12)柏町	33	5.4%
(13)砂川町	55	9.1%
(14)上砂町	43	7.1%
(15)一番町	52	8.6%
(16)西砂町	25	4.1%
無回答	4	0.7%
計	606	100.0%



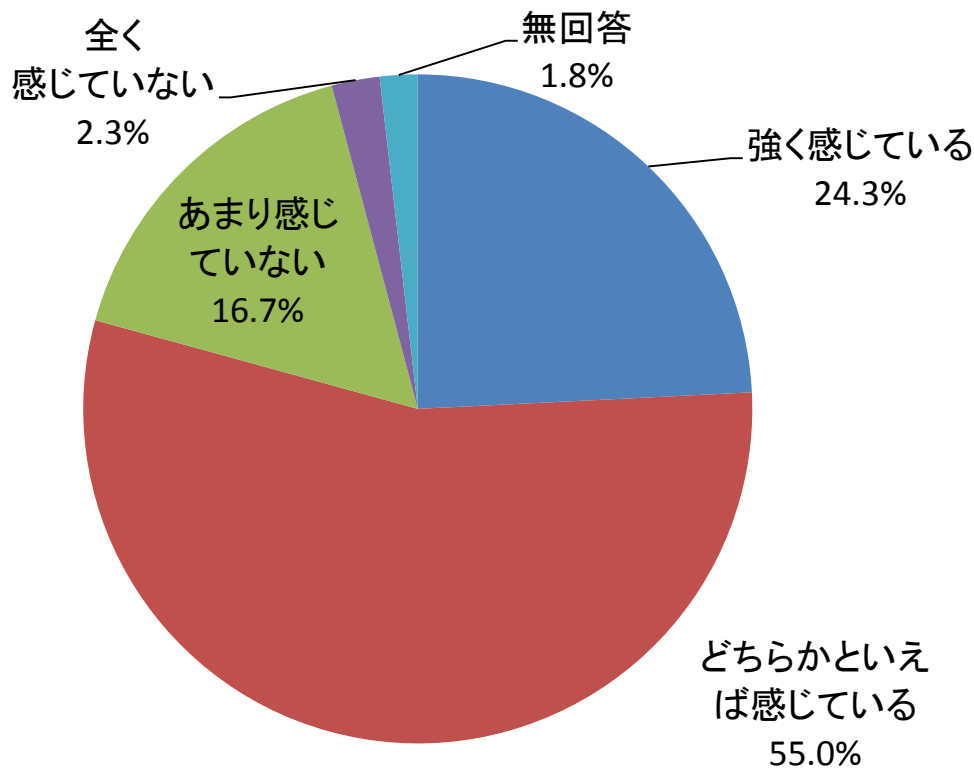
8 あなたは、「生涯学習」ということばから、どのようなイメージを持ちますか。(複数選択)

	回答数
(1)生活を楽しみ、心を豊かにすること	352
(2)趣味や教養を高めること	396
(3)生きがいを充実させること	337
(4)健康の増進や体力づくりをすること	173
(5)仕事に必要な知識や資格を得ること	87
(6)家庭や社会などの問題を理解して、解決の方法を学んだり、考えたりすること	100
(7)ボランティア活動等を行い、地域や社会のために貢献すること	106
(8)講座や教室等の学習活動へ参加すること	200
(9)学校における学習活動のこと	16
(10)幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと	190
(11)イメージするものはない、わからない	22
無回答	5
計	1984



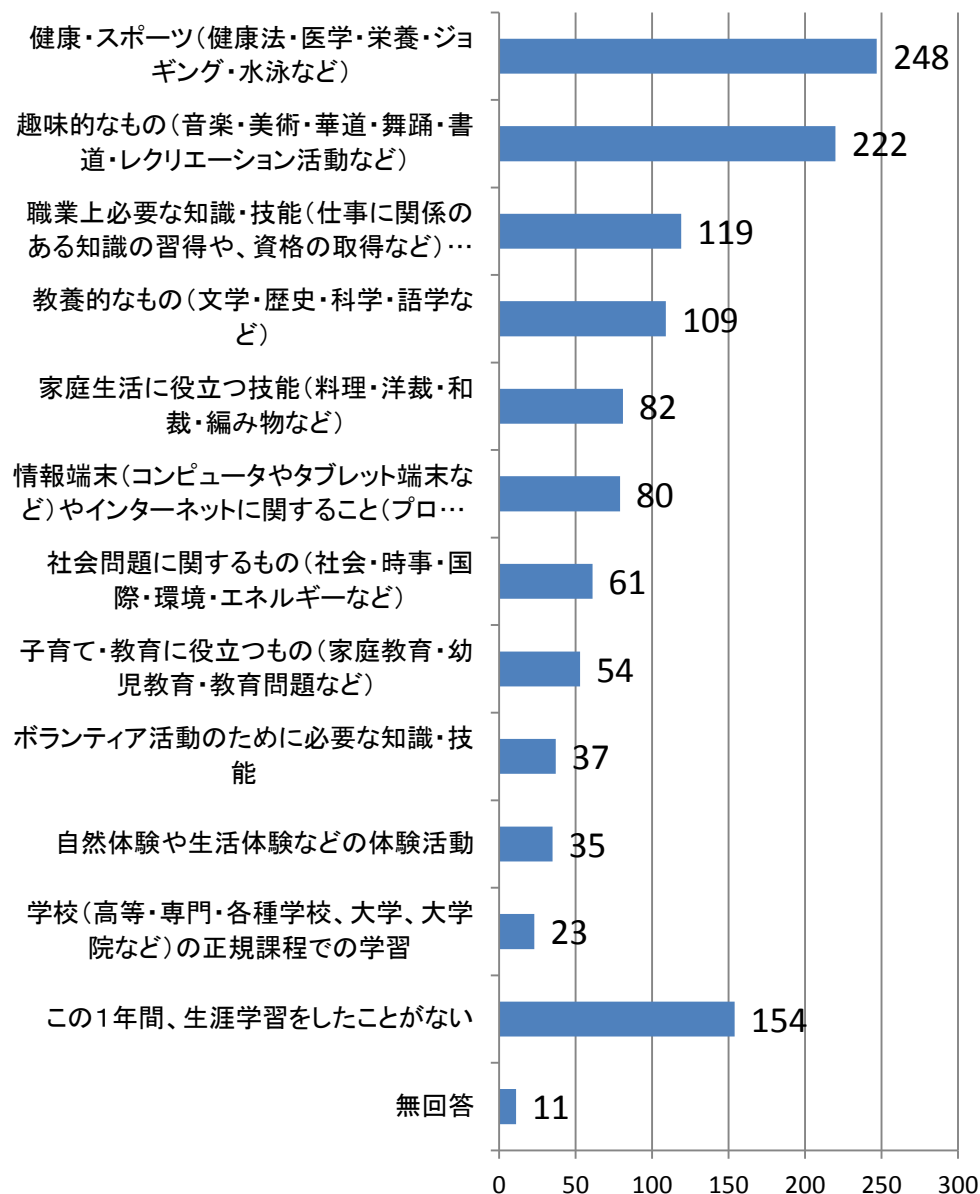
9 「生涯学習」とは、人々が生涯のいつでも、どこでも、自由に行う学習活動のことで、学校教育や地域学習館(旧公民館)における講座等の学習機会に限らず、自分からすすんで行う学習やスポーツ・文化活動・趣味・ボランティア活動などにおける、様々な学びのことを言います。あなたは、日頃から生涯学習の必要性を感じていますか。

	回答数	構成比
(1) 強く感じている	147	24.3%
(2) どちらかといえば感じている	333	55.0%
(3) あまり感じていない	101	16.7%
(4) 全く感じていない	14	2.3%
無回答	11	1.8%
計	606	100.0%



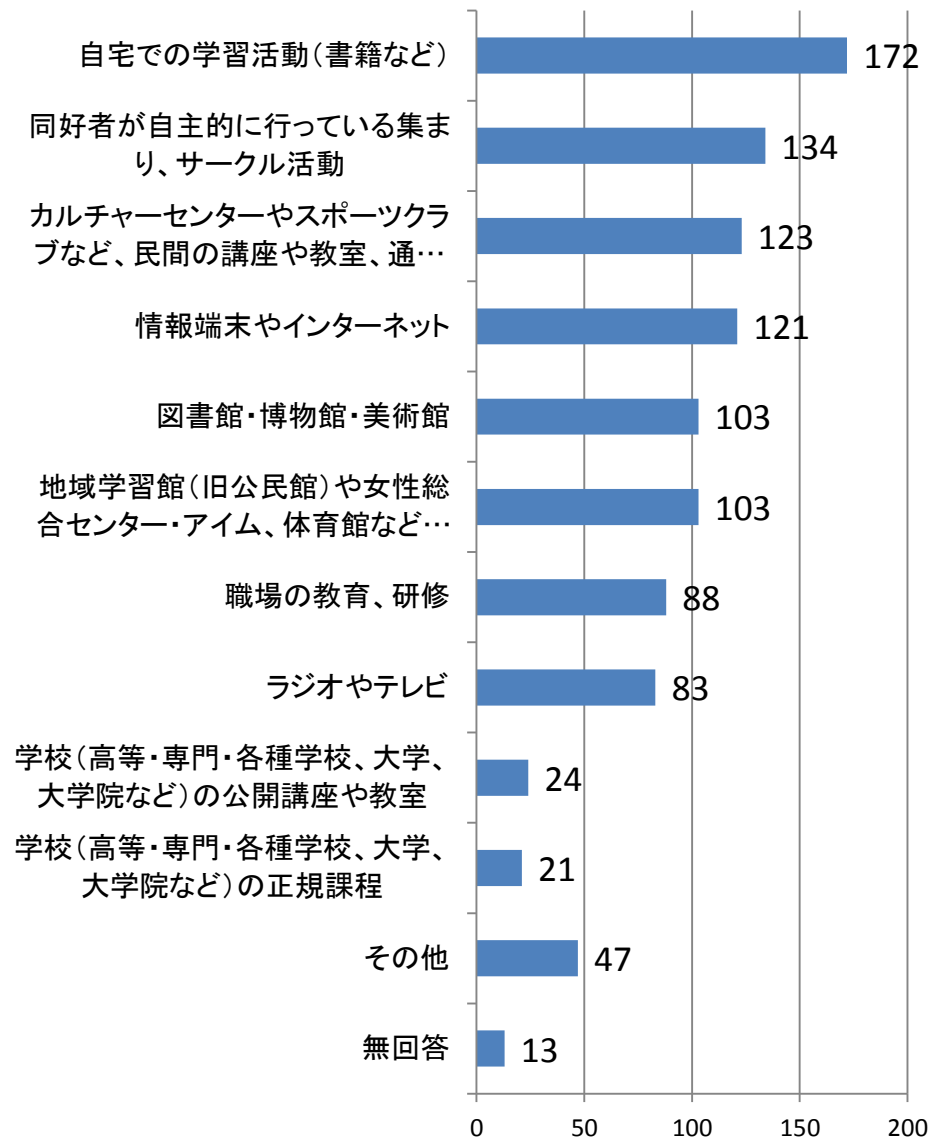
10 あなたは、この1年くらいの間、どのような生涯学習をしましたか。(複数選択)

	回答数
(1) 趣味的なもの(音楽・美術・華道・舞踊・書道・レクリエーション活動など)	222
(2) 教養的なもの(文学・歴史・科学・語学など)	109
(3) 社会問題に関するもの(社会・時事・国際・環境・エネルギーなど)	61
(4) 健康・スポーツ(健康法・医学・栄養・ジョギング・水泳など)	248
(5) 家庭生活に役立つ技能(料理・洋裁・和裁・編み物など)	82
(6) 子育て・教育に役立つもの(家庭教育・幼児教育・教育問題など)	54
(7) 職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や、資格の取得など)	119
(8) 情報端末(コンピュータやタブレット端末など)やインターネットに関すること(プログラムの使い方、ホームページの使い方など)	80
(9) ボランティア活動のために必要な知識・技能	37
(10) 自然体験や生活体験などの体験活動	35
(11) 学校(高等・専門・各種学校、大学、大学院など)の正規課程での学習	23
(12) この1年間生涯学習をしたことがない	154
無回答	11
計	1235



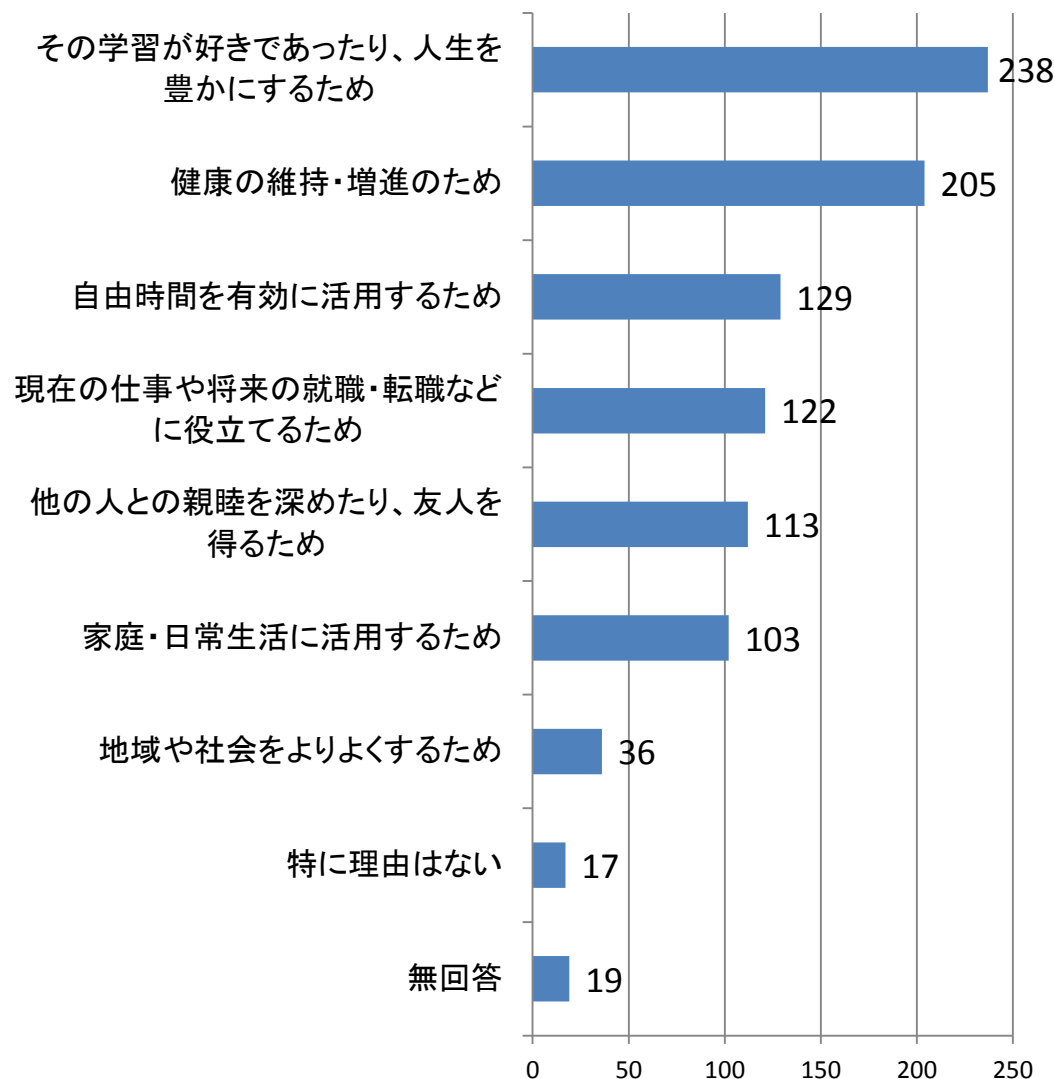
11 設問(10)で、この1年くらいの間は何らかの学習活動をしたと答えた方にお聞きします。あなたは、どのような場所や形態で生涯学習をしたことがありますか。(複数選択)

	回答数
(1) 地域学習館(旧公民館)や女性総合センター・アイム、体育館などの公の機関における講座や教室	103
(2) カルチャーセンターやスポーツクラブなど、民間の講座や教室、通信教育	123
(3) 学校(高等・専門・各種学校、大学、大学院など)の公開講座や教室	24
(4) 学校(高等・専門・各種学校、大学、大学院など)の正規課程	21
(5) 職場の教育、研修	88
(6) 同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動	134
(7) 図書館、博物館、美術館	103
(8) ラジオやテレビ	83
(9) 情報端末やインターネット	121
(10) 自宅での学習活動(書籍など)	172
(11) その他	47
無回答	13
計	1032



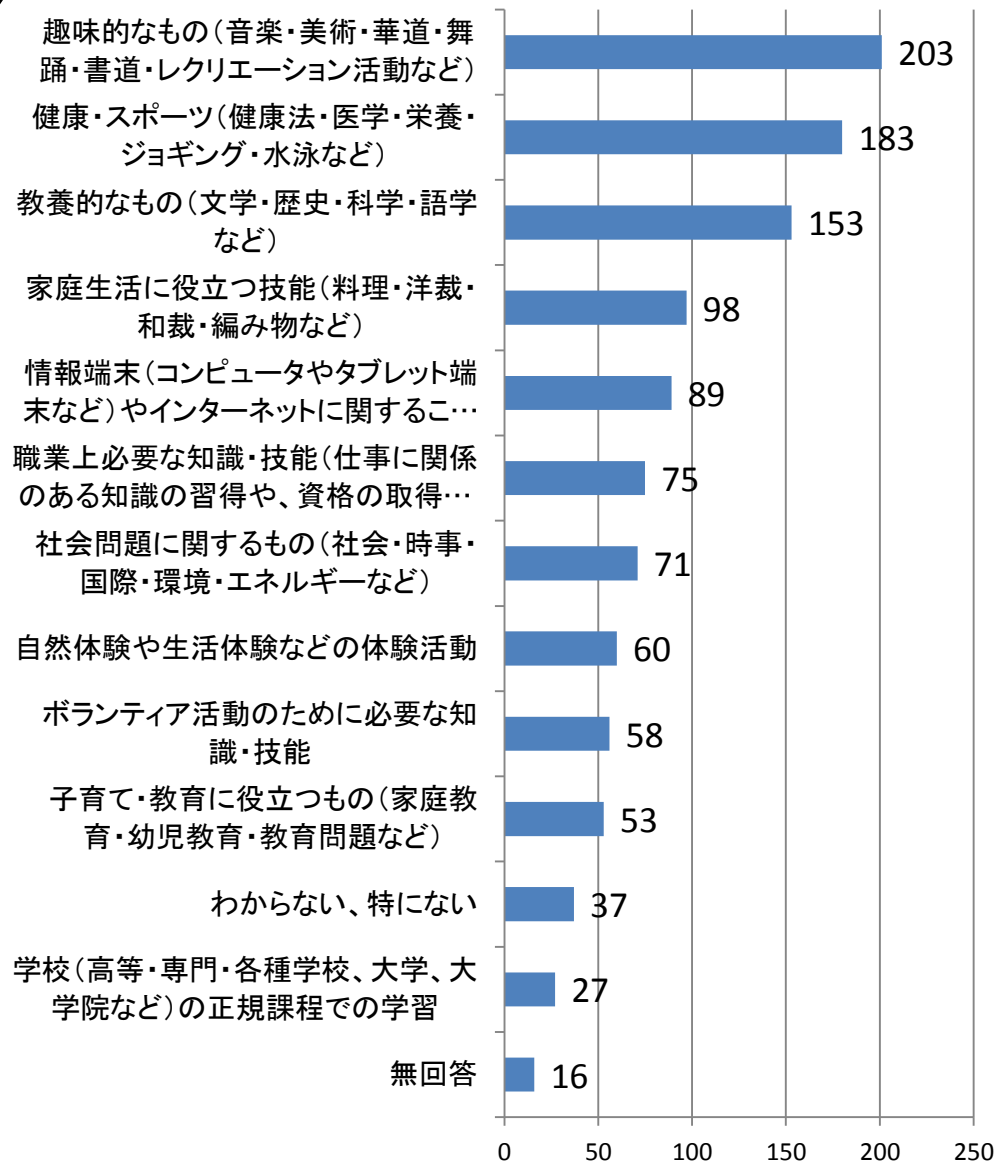
12 設問(10)で、この1年くらいの間に何らかの学習活動をしたと答えた方にお聞きします。あなたは、何のために生涯学習をしていますか。(複数選択)

	回答数
(1) その学習が好きであったり、人生を豊かにするため	238
(2) 家庭・日常生活に活用するため	103
(3) 自由時間を有効に活用するため	129
(4) 健康の維持・増進のため	205
(5) 他の人との親睦を深めたり、友人を得るため	113
(6) 現在の仕事や将来の就職・転職などに役立てるため	122
(7) 地域や社会をよりよくするため	36
(8) 特に理由はない	17
無回答	19
計	982



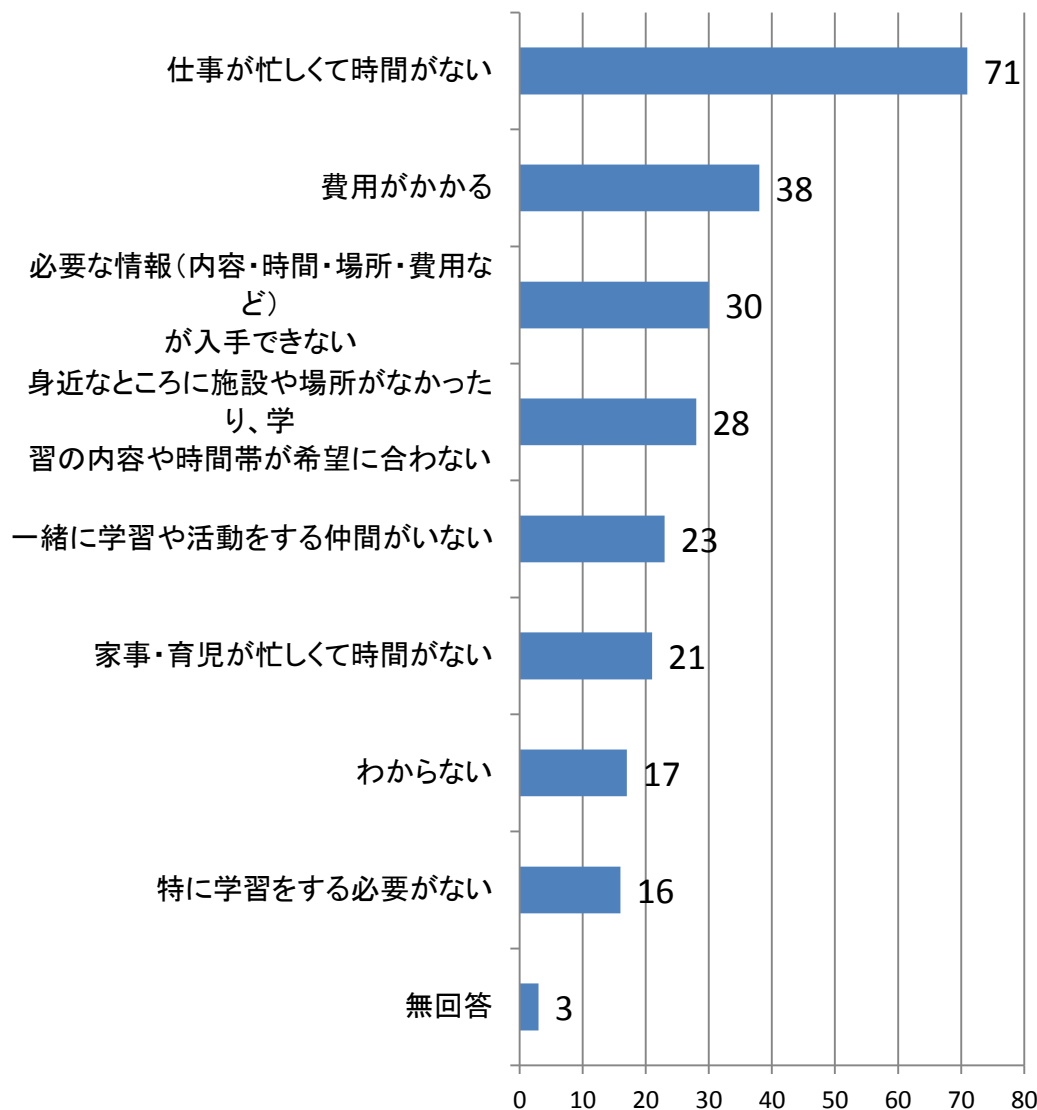
13 設問(10)で、この1年くらいの間は何らかの学習活動をしたと答えた方にお聞きします。あなたがいま学習しているもの以外で、今後学んでみたいと思う分野は何ですか。(複数選択)

	回答数
(1) 趣味的なもの(音楽・美術・華道・舞踊・書道・レクリエーション活動など)	203
(2) 教養的なもの(文学・歴史・科学・語学など)	153
(3) 社会問題に関するもの(社会・時事・国際・環境・エネルギーなど)	71
(4) 健康・スポーツ(健康法・医学・栄養・ジョギング・水泳など)	183
(5) 家庭生活に役立つ技能(料理・洋裁・和裁・編み物など)	98
(6) 子育て・教育に役立つもの(家庭教育・幼児教育・教育問題など)	53
(7) 職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や、資格の取得など)	75
(8) 情報端末(コンピュータやタブレット端末など)やインターネットに関すること(プログラムの使い方、ホームページの使い方など)	89
(9) ボランティア活動のために必要な知識・技能	58
(10) 自然体験や生活体験などの体験活動	60
(11) 学校(高等・専門・各種学校、大学、大学院など)の正規課程での学習	27
(12) わからない、特になし	37
無回答	16
計	1123



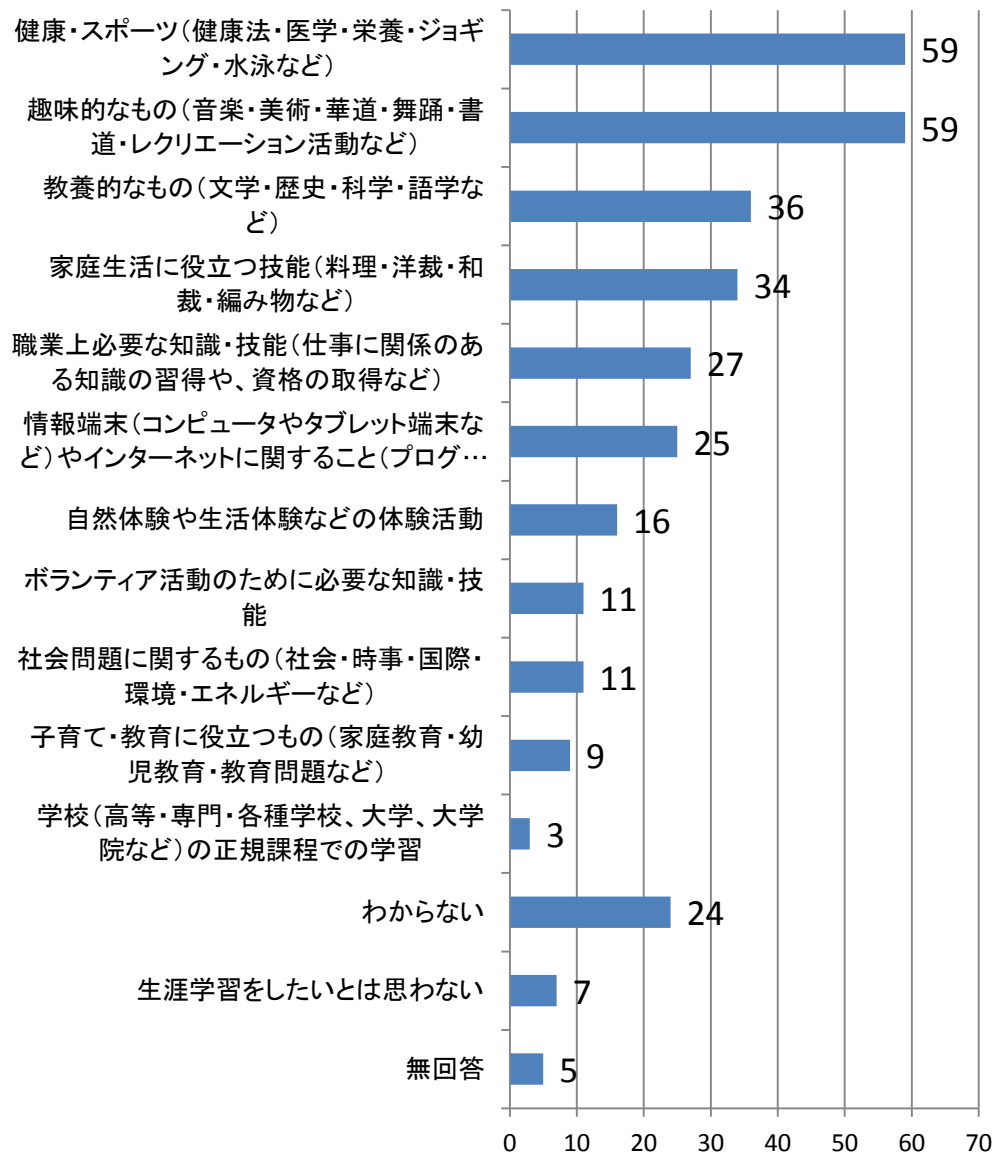
14 設問(10)で「この1年間、生涯学習をしたことがない」と答えた方にお聞きします。あなたが生涯学習をしていない理由は何ですか。(複数選択)

		回答数
(1)	仕事が忙しくて時間がない	71
(2)	家事・育児が忙しくて時間がない	21
(3)	費用がかかる	38
(4)	必要な情報(内容・時間・場所・費用など)が入手できない	30
(5)	一緒に学習や活動をする仲間がいない	23
(6)	身近なところに施設や場所がなかったり、学習の内容や時間帯が希望に合わない	28
(7)	特に学習をする必要がない	16
(8)	わからない	17
	無回答	3
	合計	247



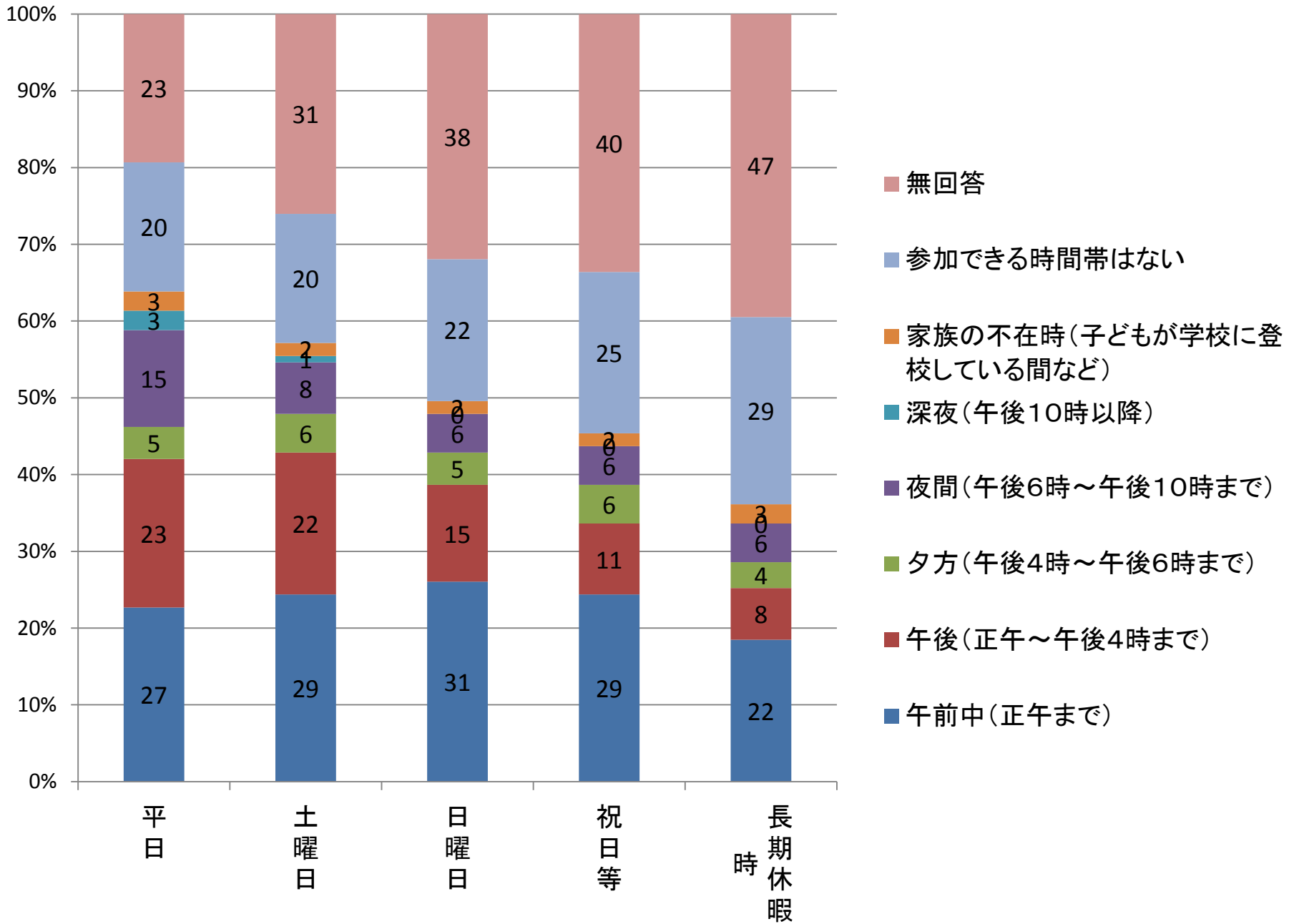
15 設問(10)で「この1年間、生涯学習をしたことがない」と答えた方にお聞きします。あなたが設問(14)で答えた理由が解消されたとき、学んでみたい分野は何ですか。

	回答数
(1) 趣味的なもの(音楽・美術・華道・舞踊・書道・レクリエーション活動など)	59
(2) 教養的なもの(文学・歴史・科学・語学など)	36
(3) 社会問題に関するもの(社会・時事・国際・環境・エネルギーなど)	11
(4) 健康・スポーツ(健康法・医学・栄養・ジョギング・水泳など)	59
(5) 家庭生活に役立つ技能(料理・洋裁・和裁・編み物など)	34
(6) 子育て・教育に役立つもの(家庭教育・幼児教育・教育問題など)	9
(7) 職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や、資格の取得など)	27
(8) 情報端末(コンピュータやタブレット端末など)やインターネットに関すること(プログラムの使い方、ホームページの使い方など)	25
(9) ボランティア活動のために必要な知識・技能	11
(10) 自然体験や生活体験などの体験活動	16
(11) 学校(高等・専門・各種学校、大学、大学院など)の正規課程での学習	3
(12) 生涯学習をしたいとは思わない	7
(13) わからない	24
無回答	5
計	326



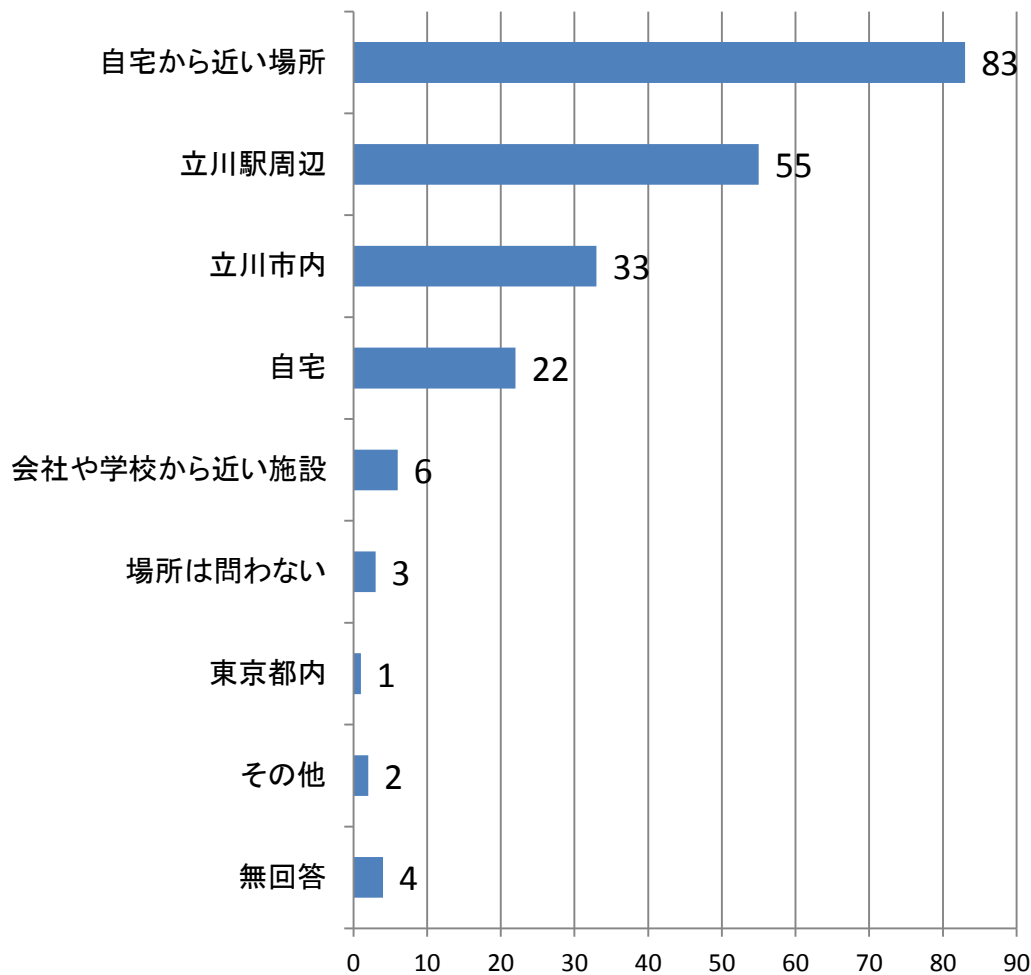
16(1) 設問(15)で何らかの学習活動をしてみたいと答えた方にお聞きします。設問(15)で答えた学習活動に参加するにあたり、一番ご都合の良い時間帯・日程について、お聞かせください。(各項目、1つずつ選択)

		平日		土曜日		日曜		祝日等		長期休暇時	
(1)	午前中(正午まで)	27	22.7%	29	24.4%	31	26.1%	29	24.4%	22	18.5%
(2)	午後(正午～午後4時まで)	23	19.3%	22	18.6%	15	12.6%	11	9.2%	8	6.7%
(3)	夕方(午後4時～午後6時まで)	5	4.2%	6	5.0%	5	4.2%	6	5.0%	4	3.4%
(4)	夜間(午後6時～午後10時まで)	15	12.6%	8	6.7%	6	5.0%	6	5.0%	6	5.0%
(5)	深夜(午後10時以降)	3	2.5%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
(6)	家族の不在時(子どもが学校に登校している間など)	3	2.5%	2	1.7%	2	1.7%	2	1.7%	3	2.5%
(7)	参加できる時間帯はない	20	16.8%	20	16.8%	22	18.5%	25	21.0%	29	24.4%
	無回答	23	19.3%	31	26.1%	38	31.9%	40	33.6%	47	39.5%
		119	100.0%	119	100.0%	119	100.0%	119	100.0%	119	100.0%



17 設問(15)で何らかの学習活動をしてみたいと答えた方にお聞きします。
 設問(15)で答えた学習活動に無理なく参加できる場所について、お聞かせください。(複数選択)

		回答数
(1)	自宅	22
(2)	自宅から近い場所	83
(3)	立川市内	33
(4)	立川駅周辺	55
(5)	会社や学校から近い施設	6
(6)	東京都内	1
(7)	場所は問わない	3
(8)	その他	2
	無回答	4
	計	209

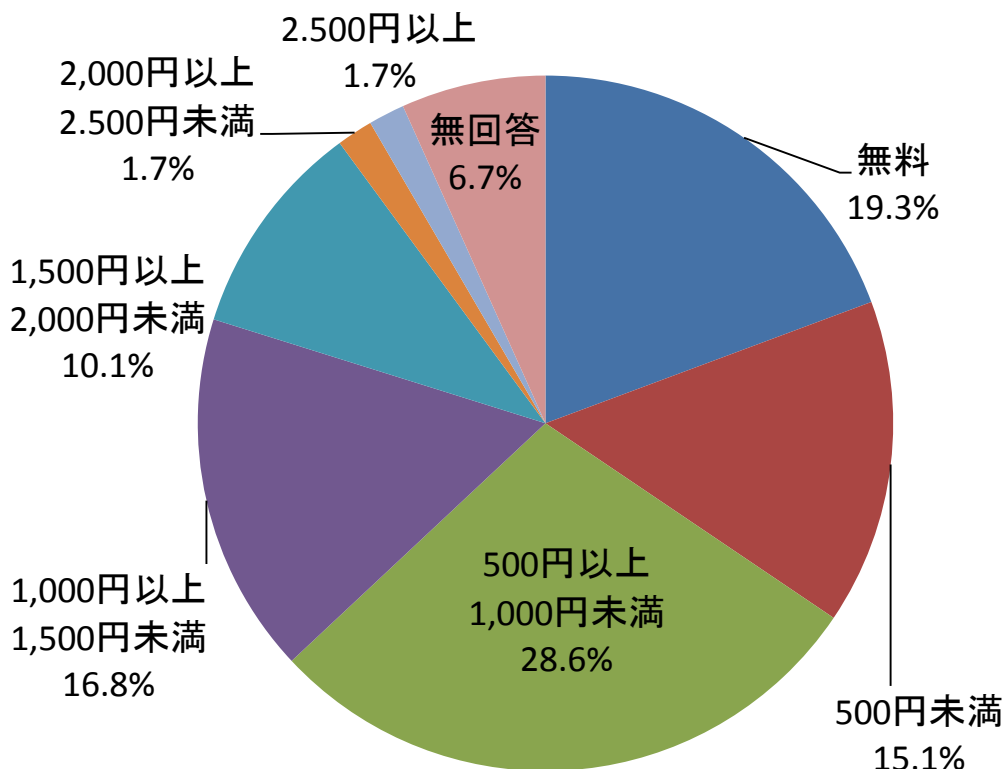


<その他自由記述>

「交通機関が便利」、「駐車場完備であれば、なお良いが」

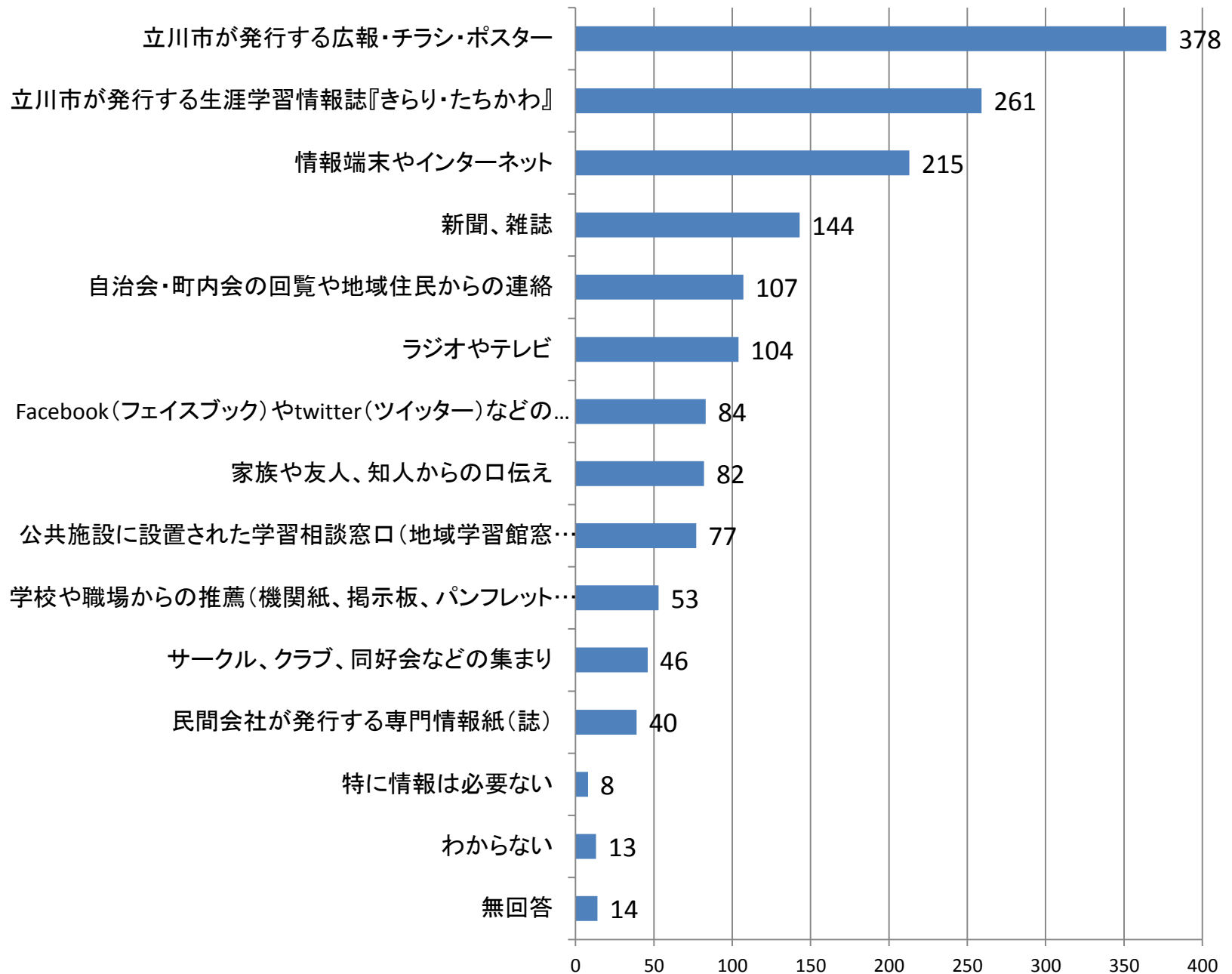
18 設問(15)で何らかの学習活動をしてみたいと答えた方にお聞きします。
 設問(15)で答えた学習活動に無理なく参加できる【1回あたりの】費用について、お聞かせください。(1つを選択)

	回答数	構成比
(1) 無料	23	19.3%
(2) 500円未満	18	15.1%
(3) 500円以上1,000円未満	34	28.6%
(4) 1,000円以上1,500円未満	20	16.8%
(5) 1,500円以上2,000円未満	12	10.1%
(6) 2,000円以上2,500円未満	2	1.7%
(7) 2,500円以上	2	1.7%
無回答	8	6.7%
計	119	100.0%



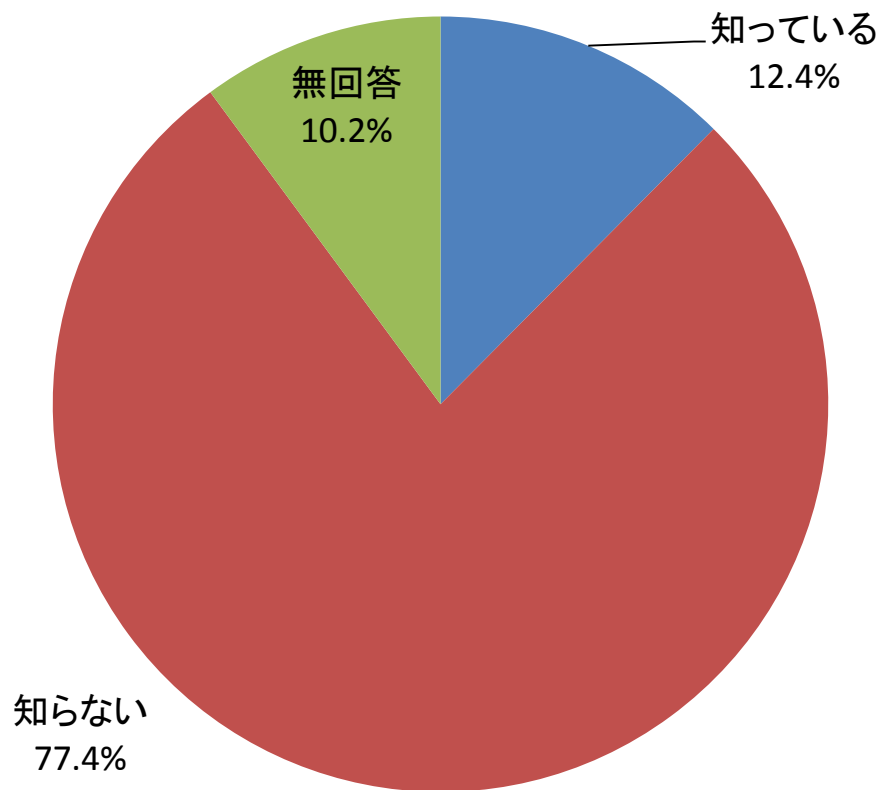
19 あなたは、生涯学習に関する情報をどのような方法で得られたら便利だと思いますか。(複数選択)

	回答数
(1)立川市が発行する生涯学習情報誌『きらり・たちかわ』	261
(2)立川市が発行する広報・チラシ・ポスター	378
(3)公共施設に設置された学習相談窓口(地域学習館窓口、生涯学習情報コーナーなど)	77
(4)自治会・町内会の回覧や地域住民からの連絡	107
(5)新聞、雑誌	144
(6)ラジオやテレビ	104
(7)家族や友人、知人からの口伝え	82
(8)サークル、クラブ、同好会などの集まり	46
(9)学校や職場からの推薦(機関紙、掲示板、パンフレット等も含む)	53
(10)民間会社が発行する専門情報紙(誌)	40
(11)情報端末やインターネット	215
(12)FacebookやtwitterなどのSNS	84
(13)特に情報は必要ない	8
(14)わからない	13
無回答	14
計	1626



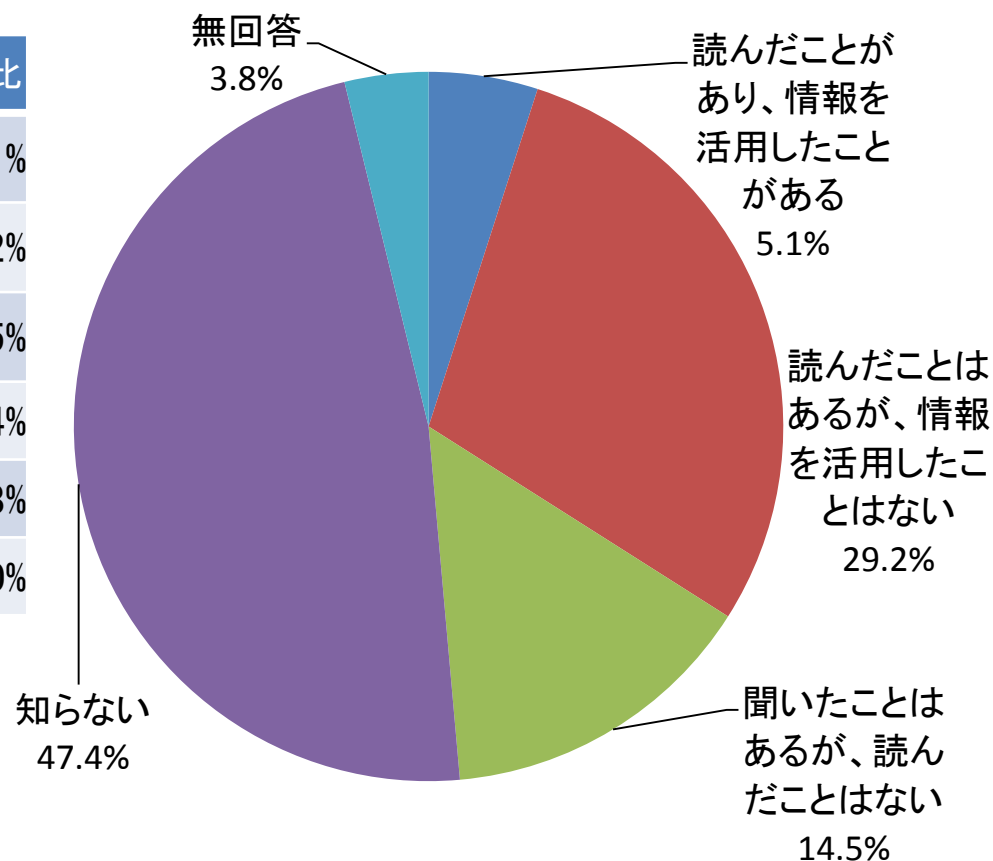
20 立川市では、市が主催するすべての講座や講演会などの学習事業はすべて「たちかわ市民交流大学」の講座として位置付け、広報たちかわやチラシ・ポスターでお知らせするほか、生涯学習に関する情報誌『きらり・たちかわ』を発行し、情報を発信しています。あなたは、市が主催する講座などの学習事業がすべて「たちかわ市民交流大学」の講座であるということを知っていますか。(1つを選択)

	回答数	構成比
(1)知っている	75	12.4%
(2)知らない	469	77.4%
無回答	62	10.2%
計	606	100.0%



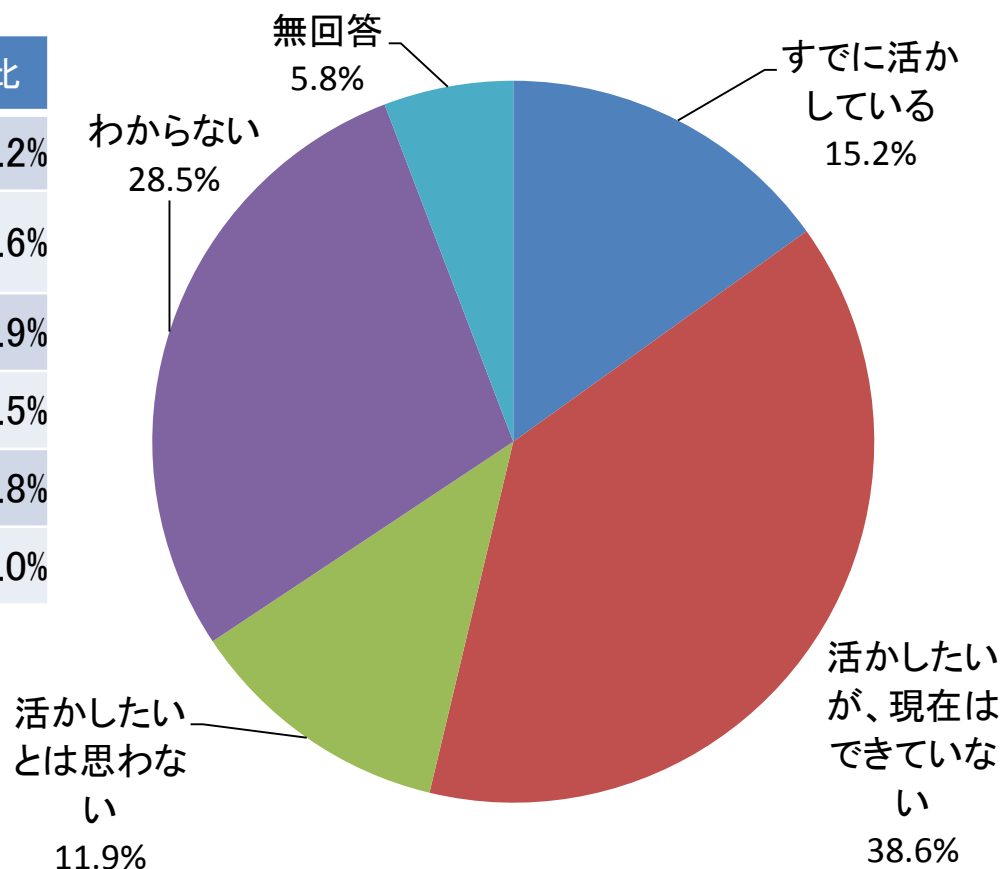
21 あなたは、生涯学習に関する情報誌『きらり・たちかわ』を知っていますか。(1つを選択)

		回答数	構成比
(1)	読んだことがあり、 情報を活用したことがある	31	5.1%
(2)	読んだことはあるが、 情報を活用したことはない	177	29.2%
(3)	聞いたことはあるが、 読んだことはない	88	14.5%
(4)	知らない	287	47.4%
	無回答	23	3.8%
	計	606	100.0%



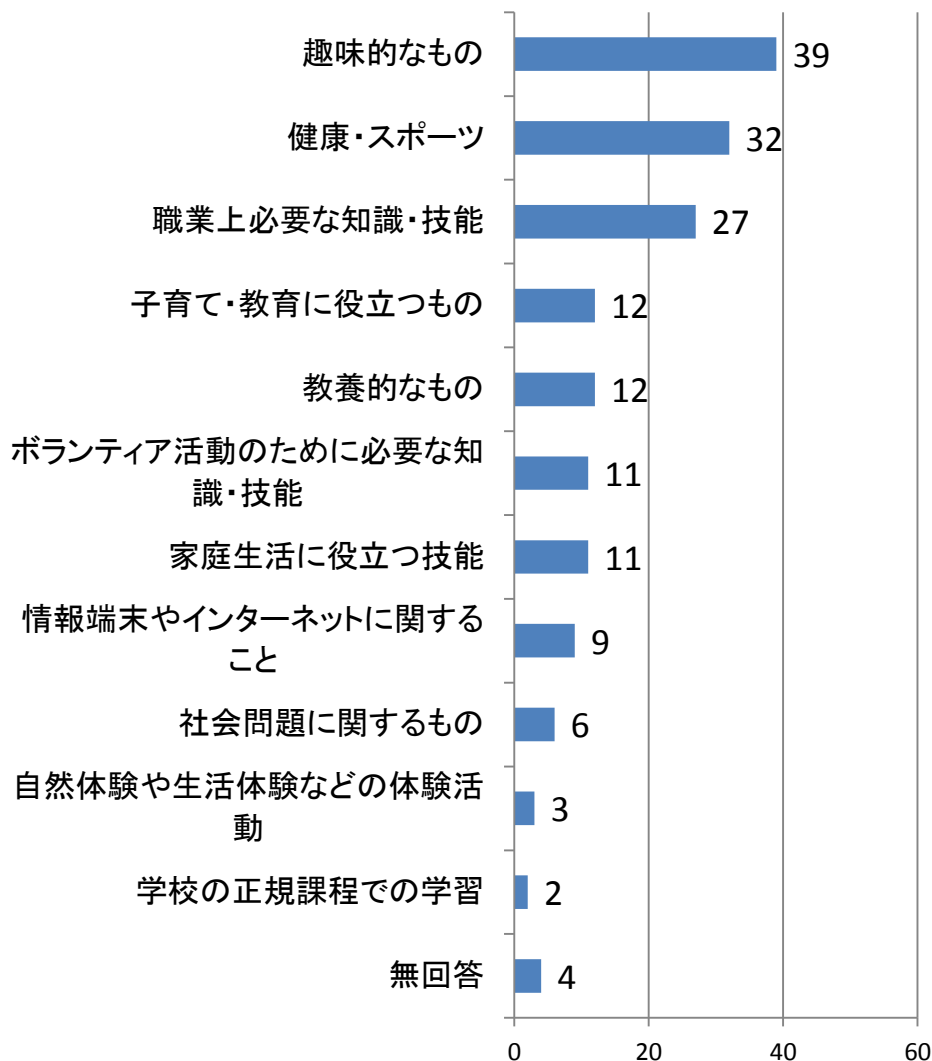
22 あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、地域や社会での活動に活かしていきたいと思いませんか。(1つを選択)

	回答数	構成比
(1) すでに活かしている	92	15.2%
(2) 活かしたいが、現在はできていない	234	38.6%
(3) 活かしたいとは思わない	72	11.9%
(4) わからない	173	28.5%
無回答	35	5.8%
計	606	100.0%



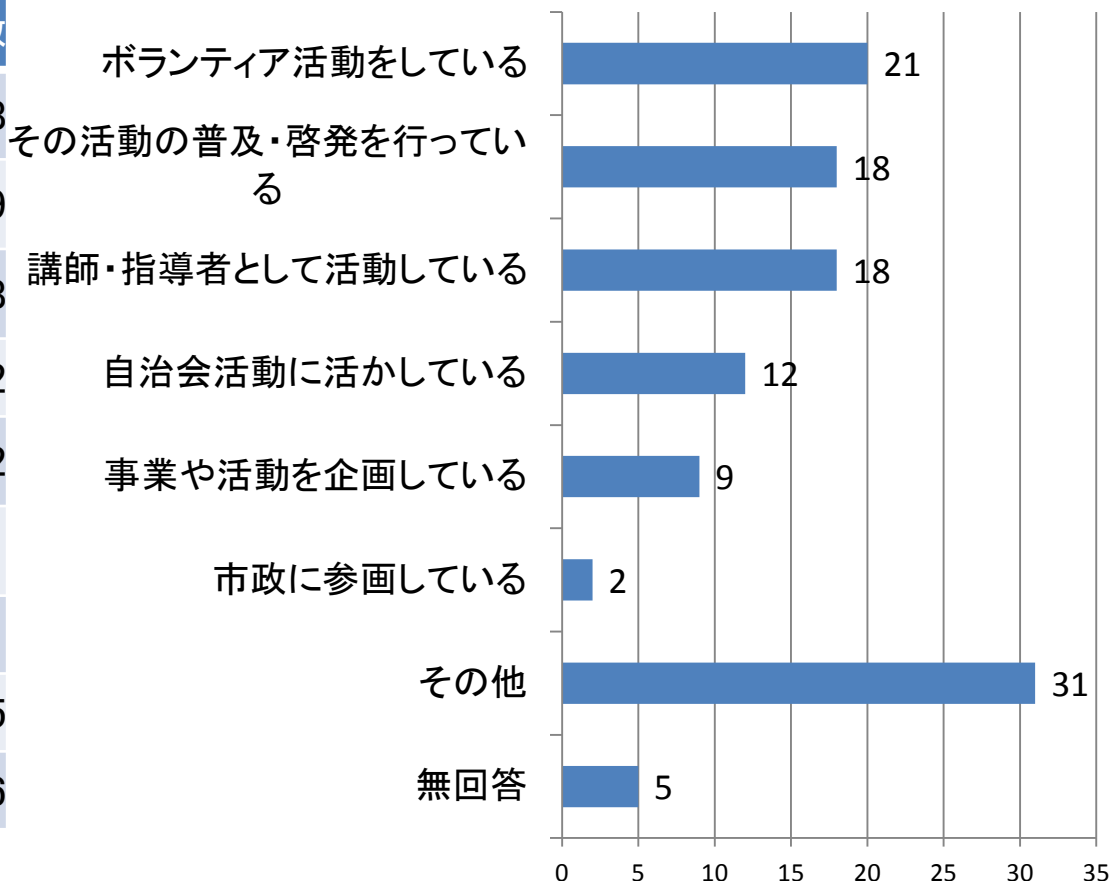
23 設問(22)で「すでに活かしている」と答えた方にお聞きします。どのような分野で学んだことを活かしていますか。(複数選択)

	回答数
(1) 趣味的なもの(音楽・美術・華道・舞踊・書道・レクリエーション活動など)	39
(2) 教養的なもの(文学・歴史・科学・語学など)	12
(3) 社会問題に関するもの(社会・時事・国際・環境・エネルギーなど)	6
(4) 健康・スポーツ(健康法・医学・栄養・ジョギング・水泳など)	32
(5) 家庭生活に役立つ技能(料理・洋裁・和裁・編み物など)	11
(6) 子育て・教育に役立つもの(家庭教育・幼児教育・教育問題など)	12
(7) 職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や、資格の取得など)	27
(8) 情報端末(コンピュータやタブレット端末など)やインターネットに関すること(プログラムの使い方、ホームページの使い方など)	9
(9) ボランティア活動のために必要な知識・技能	11
(10) 自然体験や生活体験などの体験活動	3
(11) 学校(高等・専門・各種学校、大学、大学院など)の正規課程での学習	2
(12) その他	0
無回答	4
計	168



24 設問(22)で「すでに活かしている」と答えた方にお聞きします。どのように活かしていますか。(複数選択)

		回答数
(1)	講師・指導者として活動している	18
(2)	事業や活動を企画している	9
(3)	その活動の普及・啓発を行っている	18
(4)	市政に参画している	2
(5)	自治会活動に活かしている	12
(6)	ボランティア活動をしている	21
(7)	その他	31
	無回答	5
	計	116

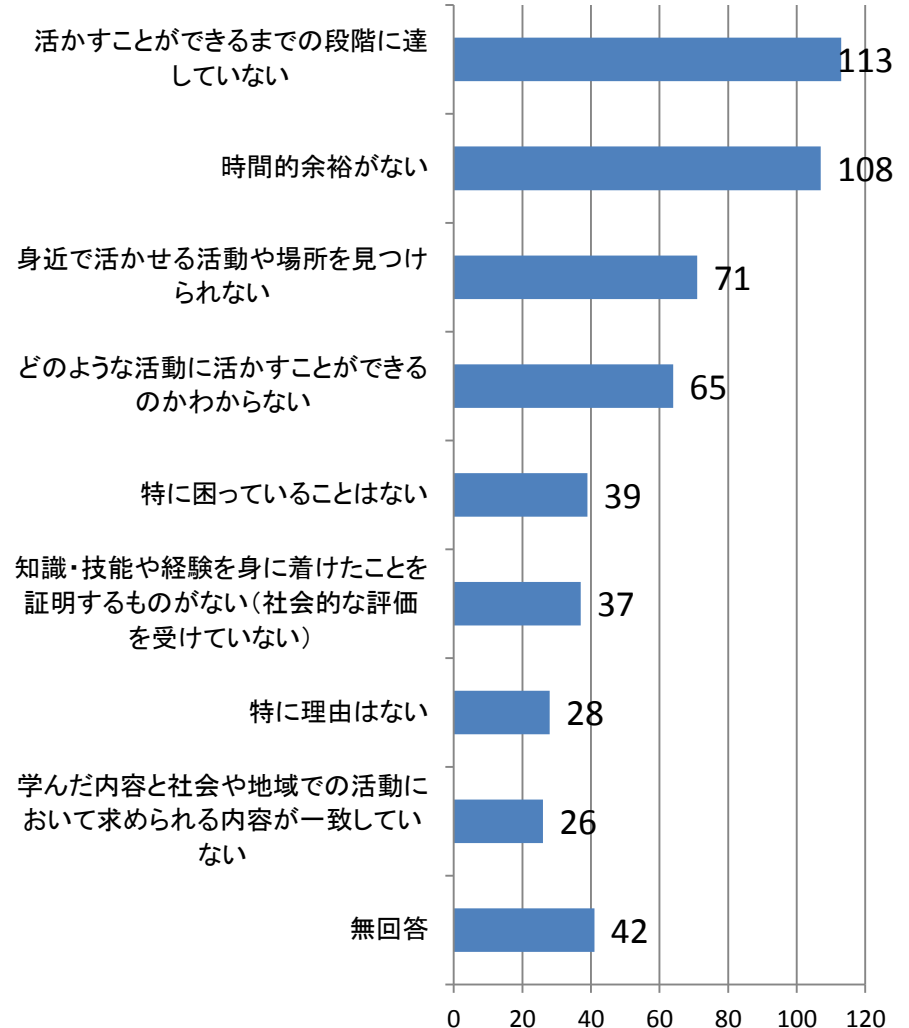


<その他自由記述>

「仕事上」、「会社の行事」、「職場の新人教育の1つとして」、「家庭内」、「サークル活動」、「資格の取得」、「フリーで活動」、「地域の友人と共に対話」、「旅行」、「職場でのスキルアップ」、「日々の業務」、「家で活動」、「収入を得る為」、「職業上での活用」、「時々仕事に活かしている」、「職場にて」、「サークルの発表会」

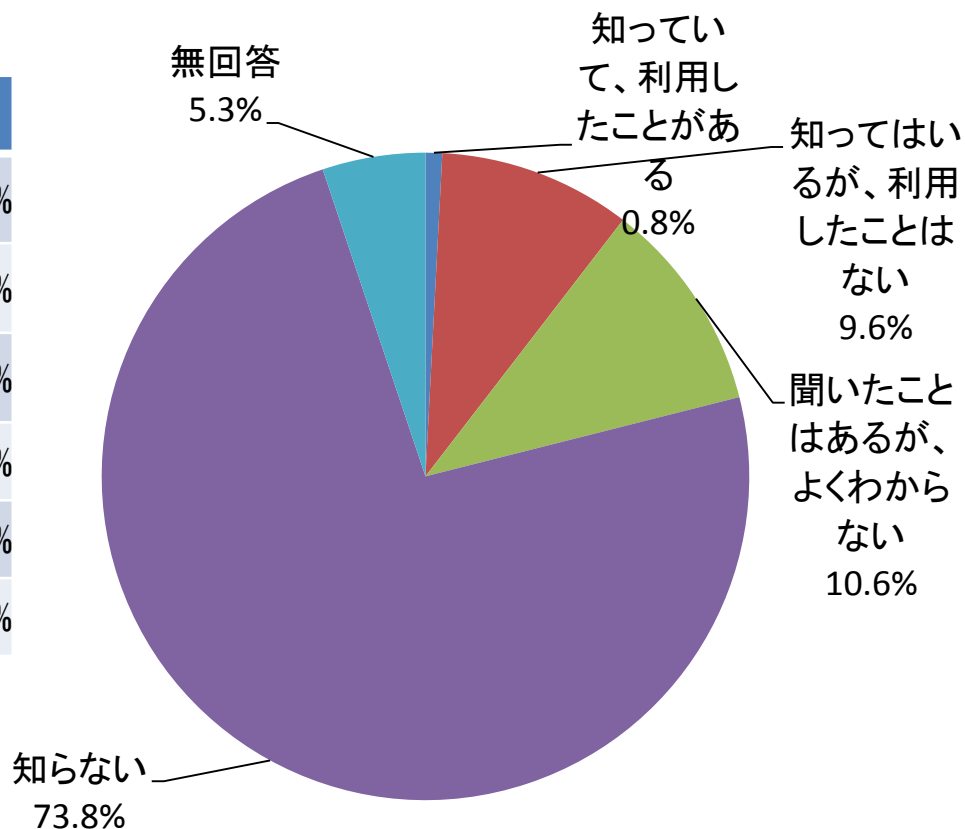
25 設問(22)で「すでに活かしている」、または「活かしたいが、現在はできていない」と答えた方にお聞きします。あなたが、生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、地域や社会での活動に活かすにあたってお困りの点や、活かしたいのにそれができていない理由は何ですか。(複数選択)

	回答数
(1) 活かすことができるまでの段階に達していない	113
(2) 知識・技能や経験を身に着けたことを証明するものがない(社会的な評価を受けていない)	37
(3) 学んだ内容と社会や地域での活動において求められる内容が一致していない	26
(4) 身近で活かせる活動や場所を見つけられない	71
(5) どのような活動に活かすことができるのかわからない	65
(6) 時間的余裕がない	108
(7) 特に理由はない	28
(8) 特に困っていることはない	39
無回答	42
計	529



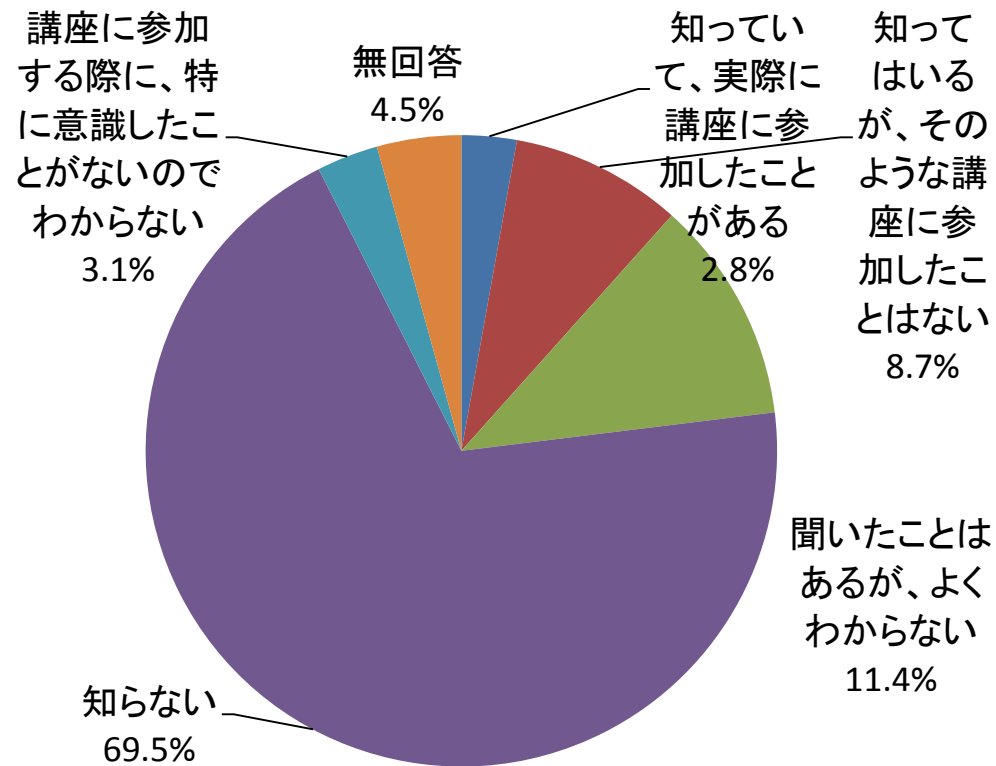
26 立川市では、生涯学習などを通じて身につけた知識・技能や経験を、地域での活動に役立てたいという市民の方に「生涯学習市民リーダー」としてご登録いただき、講師をお探しのサークル・団体など、必要な方へ紹介しています。あなたは、このことを知っていますか。(1つを選択)

		回答数	構成比
(1)	知っていて、 利用したことがある	5	0.8%
(2)	知っているが、 利用したことはない	58	9.6%
(3)	聞いたことはあるが、 よくわからない	64	10.6%
(4)	知らない	447	73.8%
	無回答	32	5.3%
	計	606	100.0%



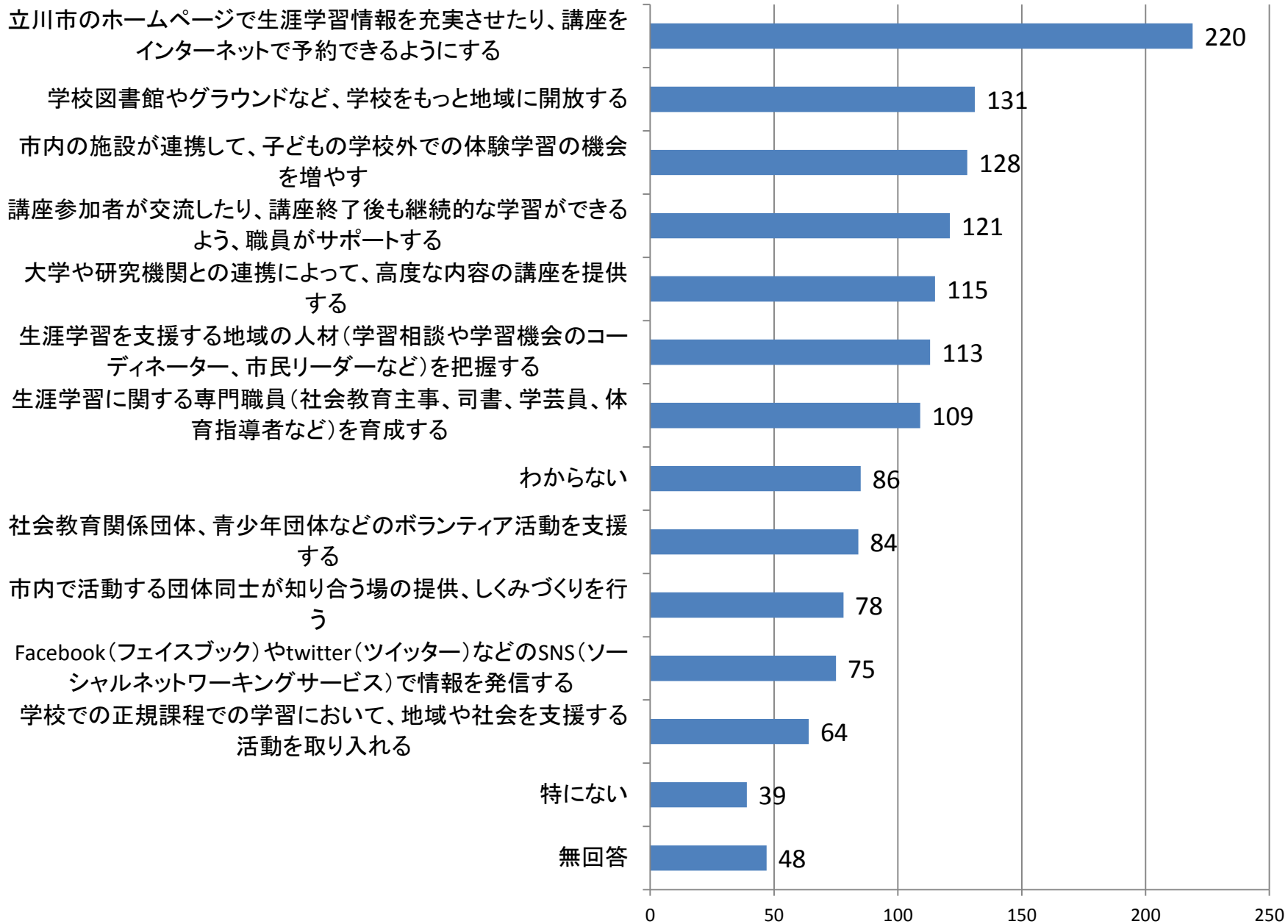
27 立川市では、生涯学習などを通じて身につけた知識・技能や経験を活かして、団体や市民の方が市民対象講座の一部を企画・実施しています。あなたは、このことを知っていますか。(1つを選択)

		回答数	構成比
(1)	知っていて、実際に講座に参加したことがある	17	2.8%
(2)	知っているが、そのような講座に参加したことはない	53	8.7%
(3)	聞いたことはあるが、よくわからない	69	11.4%
(4)	知らない	421	69.5%
(5)	講座に参加する際に、特に意識したことがないのでわからない	19	3.1%
	無回答	27	4.5%
	計	606	100.0%



28 あなたは、人々の学習活動をより盛んにしていくために、立川市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数選択)

	回答数
(1)大学や研究機関との連携によって、高度な内容の講座を提供する	115
(2)生涯学習に関する専門職員(社会教育主事、司書、学芸員、体育指導者など)を育成する	109
(3)生涯学習を支援する地域の人材(学習相談や学習機会のコーディネーター、市民リーダーなど)を把握する	113
(4)講座参加者が交流したり、講座終了後も継続的な学習ができるよう、職員がサポートする	121
(5)社会教育関係団体、青少年団体などのボランティア活動を支援する	84
(6)立川市のホームページで生涯学習情報を充実させたり、講座をインターネットで予約できるようにする	220
(7)市内の施設が連携して、子どもの学校外での体験学習の機会を増やす	128
(8)学校図書館やグラウンドなど、学校をもっと地域に開放する	131
(9)学校での正規課程での学習において、地域や社会を支援する活動を取り入れる	64
(10)市内で活動する団体同士が知り合う場の提供、しくみづくりを行う	78
(11)FacebookやtwitterなどのSNSで情報を発信する	75
(12)特にない	39
(13)わからない	86
無回答	48
計	1411



29 今後の立川市の生涯学習への取り組みについて、アイデアやご提案、ご意見がありましたら、ぜひお聞かせください。

私は、音楽(楽器)を演奏することを楽しんでおります。長い間やっておりますが、立川には、ホールが少ないです。又、音響に対しての設備が悪いです。多目的ホールにしているので、演奏者にとってはとても使いにくくなっています。他市には駅近く、300~500人が入るくらいのホールがあります。芸術の町といっても、音楽を楽しむ人達にはつめたいように思われます。もっと、力をそそいでほしいです。又、本当に理解した人にホールを作ってもらいたいです。ただ、つくればいいのではなく・・・いろいろな町のホールを参考にして。(橋本のホールは良いです)

私は病気なのであまりわからない すみません

“生涯学習への取り組み”自体を知らない方が多いと思いますので、まず、皆にそういった活動がある事を広げていく事が大事だと思います。

まずは身近な所、事から取り組んでみたいのですが、なかなか一歩がふみ出せません。「生涯学習」という言葉に魅力を感じますが、(子育て期は子供と一緒に体験できるか?!)、60歳以降、退職後に充実した人生を送るために何かぜひ一歩を夫婦で歩めたら嬉しいのですが・・・。

市営図書館の設備を増やしてほしい。ビデオの見えるフロアが耳なりがしてしまいます。テーブルを仮設の様なものではなくしっかりとしたものにしてほしいです。でも、本の種類は、とても満足しています。

- ①立川市内に大学が無いハンデを感じています。「生涯学習に関する提携大学」を希望したい。
- ②「きらり・たちかわ」講座への市の財政的支援が足りないのでは？学習者に対するモチベーションアップになるような年代別なり講座終了回数区分などをして、交流促進会合を企画してほしい。
- ③欠席した場合の補講がビデオでなく、インターネット配信を検討してほしい。
- ④事務局(司会)がダブるような講座は一考されたい。(ex南極講座)

・やってみたいと思った事はあるのですが、子供が帰宅する時間とかぶってしまいます。
・子供は小学生なのですが、親子で学べるものがあれば、参加したいです。特に英語など・・・。
(英会話)

・生涯学習講座を量よりも質の高いものにして頂きたい。・生涯学習とコミュニティづくりを切り離して考えて欲しい。・市民リーダーの習熟度合を差別化して、ランクづけすることによる、活性化を図る。・アンケートをシンプルにした方がよろしいと思います。文章にしてしまうとまわりくどい。文字の大きさを調節した方がよろしいです。(問いと項目の文字の大きさが同じなのはわざとですか。理解しずらくなると感じます。)

同窓会を利用してそれなりの年齢層を集めると集まりやすいのではないか。仲間がいないと参加しづらい。

・くるりんバスを2hに1本にせず、ふやしてほしい(南ルート)(21:00まで本数を増やしたい)
・自転車おきばの時間帯を10:00にせず、8:00にしてほしい。・ゴミのふくろを無料にしてほしい。

以前、立川市の広報のパソコン教室に連絡をした所、「個人(自分)のパソコンを購入してから来て下さい」と言われ、今の生活に大金をはたして買うだけの必要があるのか悩みやめてしまいました。あまり自信のない学習に時間やお金をかけずに習いたいと思います。

立川市は多摩地区においてとても重要な役割を果たしていると思うので若者然り、大勢の多種多様な人々を巻き込んで生涯教育を発展させられると思います。私も何かできることがあればしたいと思っているので、うまく情報発信して頂き、こちらも受け取って参加していきたいです。

家庭の事情で、炊事・洗濯・掃除・買い物など、全て私がやっておりますので生涯学習は、息抜き場です。それ以上は望めない立場です。参加出来るだけで感謝です。

車椅子でも参加できるような施設を願いたい。(特にトイレ)

子供の体験学習の開催等の情報のプリントを配布してほしい。都合が悪く参加できないことがあるので、何回か開催してほしい。

(図書館)・電子本の貸し出し。端末の無い人には、端末ごと貸し出し・利用時間の延長・民営化・コンビニ併設・分野を絞って、その分野の蔵書「日本一」にする(例サブカル) (体育館)設備に大きさの割に利用可能な人が限られると感ずる・民営化 適正利用料金(おそらく値上げ)・新設は不要

親子・家族で参加できるものが増えていくといいと思う。「街ゼミ」は今後も大々的にPRしてほしい。

立川がより魅力的な街になり、市民の文化、教育、スポーツなど充実した活動が行われると良いなと思います。

立川市に常設の美術館が無いように思う。みどりの文化ゾーンは展覧会会場としては不向きです。交通の便が悪い。せめて車の駐車場の設置を出来る所を要望。

上記スローガンを、はじめて知りました。立川のHPを拝見しても出てこないようです。どこで確認できるのでしょうか？

小学校から社会の一般常識を教え身につくようにすべきです。例えば、最近危険に対する意識が低いです。脅すわけではなく世の中には他人をだましたり、悪いことを平気でする人間が多くいること。うそは、非常に悪いこと、他人に迷惑をかけるとはどういうことかとか、言葉や暴力がいかにか他人を傷つけるかという、昔あった道德の時間を現代に合わせて充実させて、しっかり考えさせてはいかがですか？ただ、今の親や祖父母ですら自己中心な方々が多くいるので、そういう方々が少しでも他人を思いやる気持ちになり自分自身を自覚してもらえる学習が今、一番必要な学習でこれこそが生涯学習ではありませんか？

元気な高齢者の料理の会などを作り、その料理を一人暮らしの不自由な人に届けるしくみなどあれば人の役に立ちつつ、ひまを持て余すことがへるのではないか。ボランティアなり、材料費位の有料でもいいと思う。

<趣味的>例・・・コーラスクラブ等。もっと増してほしいです（立川市情報誌や広報等でわかりやすく）

市民の皆様が、健やかで幸せな毎日を過ごすことが出来るようになりますように。

アンケートに対しての謝礼を少しでも頂きたいとの要望が有ります。

今回“生涯学習”という活動を立川市が行っていると、初めて目にしました。こういう情報誌は家のポストに入ってきていたのでしょうか？自身を高める為になる事を、子供が手をはなれたら本格的にやりたいと思っていたので興味深かったです。

知識のある方を中心に考えている様ですね。中にはあまり教育を受けていない方もいます。生涯学習・・・？ですね。ボランティアの方でも、人前では良く、見えない所では・・・立川市の方が色々と考えてくれている様ですが・・・楽しみです。今よりも、誰でも気軽に学習出来る事を・・・

地域の人と人が結びつくような活動ができれば良いと思います。地域社会での活動と社会貢献がつながるように考えて、ニーズに沿った活動が生きがいになると思います。

もっと保育充実させてほしい。

皆様には、もっと活動範囲を広げて頂きたい。お願い致します。

「生涯学習」という言葉が、市民に与えるイメージを曖昧なものにしている気がします。せっかく「くるりん」がいるのだから、「くるりん」が英語やダンス、楽器を弾いたりスポーツをしたり、書道、ボランティア、学習や料理などにチャレンジしたりする姿を、HPや、広報で紹介したり「くるりん と学ぼう」のようにもっと親しみやすい名称にしてはどうか？「立川のくるりんってなんだかすっ ごく学んでるらしい・・・」とメディアにでもとりあげられたら？くまもんやにしこくにまけない「学 ぶゆるキャラ」で売れると思うのですが・・・そして、くるりんが楽市でバンド演奏したり、街にゴミ ひろいうんどうに参加したり、健康フェアや、防災訓練等に来てくれる！（もっと名前を売って） となれば大人も子どもも集まります。いっそくるりんグッズ、きんちゃくとか文房具、小学校入学 時にランドセルに貼る蛍光シールをくるりんにするとか・・・ちょっとズレましたね。すみません

熱を入れて取り組んでいることを感じ感銘を受けています。高齢者は自分の身をどの様に処 すべきかで殆んどいっぱいです。基本的な考え方として高齢者には若者の面倒を見させると 言うのではなく、高齢者は最大努力して他人に迷惑を掛けずに、自分のことは自分である と思います。生涯学習もその方向で行くべきと思います。

受けたい講座が近所ではやっていない事が多いので、どこの場所でも平均的に同じ講座が受 けられるとありがたいです。

生涯学習の開催にあたり、平日開催は働いている方が参加できません。夜か土・日の開催日 が多いと参加する方も増えるのではと思います。

生涯学習というと老人を対象としたイメージがわいてしまうので、ちょっと参加しにくい気がしま す。

サークルでもベテランの多い中に入って行くのはむずかしい。全く無でサークルに参加して、と まどう。初級、中級とかしてほしい。参加しやすいと思います

立川市に移住して4年になりますが、実際平日は終日他区への通勤に費やされているのが現状でなかなか市の催しに参加できていません。将来的には立川市内で積極的に生涯学習に取り組みたい気ちはありますので是非、充実させてより良い市民生活の向上に市は貢献して欲しいと願います。アイデア、提案は残念ながら思い当たらず申し訳ありません。

図書館は充実しているが、博物館・美術館が無いので都心まで出かけなければならない。昭和記念公園の企画は天候に左右されて参加できないことが多く残念に思っています。むつかしいとは思いますが、朝・夜の時間延長(文化センター)もたまにはやってほしいです。

周知されていない気がします。情宣が難しいと思いますが、ネットなので気軽に参加エントリーできると良いと思いました。

柴崎福祉会館の対応は冷たく、不快です。

子どもが幼い頃から、そういう場があることを知り、体験する場をたくさん用意し、大人になっても勉強できる場があることを体得させる。子育ての中の親も生涯学習に参加しやすい体制(保育)と機会をたくさん作る。多くの人が学びあえるようにしてほしい

子どもや青少年における自由な「生涯学習」が行なえる場としくみづくりが必要である。場としてはSNSを使っても良いのでは？

高齢者の交流の場が少ないように思います。図書館など公共の場で気軽にお茶でもできる場所、散歩で疲れたりしたら寄れる場所があったらと思います。

立川は物質的に豊かでとても良いところだと思います。住みやすいと思います。アンケートありがとうございます。でも、精神的な指導者？もっと物質だけではなく心が豊かになったら良いと思いました！それは立川だけでなく、日本が足りない所だと思います！！

他市にてパソコン教室に(市主催)に通った事があるが私以外70才代の方々にレベルが遅い、通う事をやめた。年輩のクラス分けをした方がよいと思う。

生涯学習といえるかどうかわかりませんが、これから私達団塊世代がどんどん時間がある年よりになっていきます。その力が社会に役立つような場所が色々あればよろこんで参加させて頂きたいと思います。 ex ・子育てで悩んでいるママ達の力になれば ・もっとお年寄りの方達のお役にたてること ・小学校など往復だけでなく、授業中、不審者の立ち入りを防ぐようなこともできるのではないかな…等々

市はあくまで生涯学習事業へのきっかけであれば良いと思う。あまりにも高度で専門的すぎるのでは市としての仕事を越えてしまう。市民のためのもの、広く浅く、それでいて興味のもてる市民目線の情報の提供が大切と思う。

職員のみなさま ご苦労さまです。

公民館などで開かれている講座であっても、人数に制限があったり、時間帯で参加出来ない場合が多く感じられます。

・官庁色の強い情報誌の誌面を、もっとわかり易く工夫するなど、老若男女問わず、誰もが気軽に手を伸ばしてみようと思えるような広報をされるともっと良くなると思います。 ・興味はあるけれども、実際に市民交流大学の存在を知らない方も多いと思います。 ・全体的にとっつきにくいイメージがあるからかなあと感じます。 偉そうに意見して申し訳ございませんが、よろしくご検討のほどお願い致します。

高令化社会において、まだまだ、社会的に接するchanceがあるがはず。情報の提供だけでなく、何らかの「きっかけ」作りが必要と思う。高令者は情報に対し、受け身である事を念頭に考えてもらいたい。

高齢者(私もその1人ですが)フェイスブック、ツイッターと、言葉はわかりますがパソコンとか、あまりできないので、情報発信されても、わからない事があり、インターネットで予約できるのかと思います。ホームページとかパソコン教室(講習)があればと思います。

定年年齢60才に対し、健康状態が良好な(まだ充分社会活動ができる)人材が多く(また今後ますます多くなり)、それら人材の有効活用 of 場を設ける必要性があると考えます。生涯学習についても、上記状況とリンクさせた施策が必要に感じます。

私は現在70才以上ですが身体的には健康であるというわけではありませんがいろいろと学習しながら自分の体をたもっています。テレビを見て、自宅にいるよりも人との交流会話がとても大切であると実感しております。まず思うことは年齢別と時間帯について考えてもらいたいです。年齢の違いは、若手の方々の間に入った高齢の方はしたいことがあっても講師の人の眼は若手の方の方にいってしまいます。又、インターネットじゃすべての家庭にはないという点です。

・生涯学習をテーマにして取り組んでいる自治体を見つけだしそのなかでうまくいっている自治体のやり方をベンチマーキングしてはいかがですか ・市長が期限を示して、それまでに目に見える効果がなければ生涯学習への取り組みの予算をカットすると明言するなどして市の職員が必死にならざるを得ないような状況をつくるべし。必死にならなくてもすむような緩い環境から、実行力ある妙案や目を見張る行動力が産れてくるとは思えない。

喫煙に対するリスクをもっととりあげて。立川市は歩きタバコが多すぎる。なんとかしろ

株について知りたい。この手のアンケートについて、解答者には、何らかの粗品がほしい。

総て市外のクラブで学んでいるので！

場所(自由に使える)の提供を増やして欲しい。

設問(28)を見て感じたのは、大がかりなシステムや人材育成は不要だという事。情報にふれる機会を増やし、学ぶ人達をバックアップする態勢の方が求められているのではと思います。例えば、若い女性の受講者が多い講座には、ベビーシッターを用意したり高齢の参加者が多い場合には、タクシー代を一部補助するとか・・・「参加してもいいけど・・・」と思っている人の背中を押す支援をしてほしいと思います。

市民にどのように伝えるか、知らせる方法が必要だと思います。TV、ラジオ等、新聞など可。色々な活動されていると思いますが、全くわからない方が多いです。

大学時代、教職課程の科目の教授が、「生涯学習」について、その意義と大切さを教えてくれました。今だに思い出すことがあります。先生は、「今は、大学生だから学習するのは(勉強)、あたり前ですが、生涯、死ぬまで(老人になるまで)何らかの形で学習(学ぶこと)は続けていて下さい。人生＝すなわち、生涯学習です。」とおっしゃっていました。私なりに、色々生涯学習をやっているつもりです。とりわけ、華道は、大学時代から続けていて、就職・結婚・出産後もずっと続けていて、20年が経ちました。この度、立川市が生涯学習への取り組みを推進されることを知り、うれしく思っています。学ぶことは、楽しいです。心が、生活が、豊かになります。子ども達にも是非広げていけたら良いと思います。

日々働くことで学習のよゆうがありません。子供を育てあげたらかいごと次々と色々な事があり、自分の為になどという事を考える時間もお金もないのが現実です。必要なお金を家庭や自分をぎせいに働いても税金やら病院代やら足りる事はないのですから。そんな事を感じたりするのはたぶん一部の人間なのかもしれませんが上を見たらきりがないように、下の方に居る人間も居るので生涯学習はゆとりの人が与えられるものだと感じてしまいます。

①高齢化時代に即した、生涯学習のあり方を考慮して欲しい。 ②自然体験のできる学習を増やしてほしい

市が色々な取り組みを行ってことは存じ上げております。一市民の一人としてこれからもよろしく願います。

・長期的な「超」高齢社会に向けた教育プログラムの策定をお願いしたい。 ・高齢期の収入減や身体及び環境の変化に伴って生活上のリカバリが必要な方への教育や支援対策を優先的に検討していただきたい。 ・収入が必要な方へは必要な収入を得る手段としての教育・訓練を計画的に受講していただき、雇用も保障する。身心に支障をきたしている方にはそれに伴う知識等を習得していただき、有意義な生活をおくれるように支援する。以上、様々なケースを想定した生涯学習制度が望ましい。 ・学習内容が趣味的なものに偏ってしまうと学習内容や参加者の固定化につながり教育プランに行きづまりが生じ、発展が望めない(役所の仕事ではない) ・少子高齢化でリソース不足が生じる。対応として、世代間の交流(学習や生活指導)が必要。

生涯学習には以前から興味があり、参加したいと思っておりますが情報が無く断念しています。我が家はPCが無いので→まだ、こういう家庭があるのを考えて欲しいです。情報源は基本、広報と図書館のチラシのみ。

学習活動には行きたいと思うが特定疾患の病気を持っているので参加出来ない状態なので(16)は答えられません

人は、何かをする場合に、ある程度の報酬を出したほうが良いです。ということで、ゴミぶくろとかもらえるとやる気出ます。

ネット社会なのでネットを活用して行くと良いと思います。

(28)のアイデア、全て良いものだと思いますが、やはり、本人の“やる気”が一番だと思います。きっかけとしてイロイロなアイデアがあり目標の達成後に、就職先が決まるなど何かご褒美のような資格取得が出来ると意欲がわくのでは？と思います。ほんと立川市民でありながら知らない事だらけですみません

正直知られてないと思います。知名度を上げる取組みが優先課題かと。ホームページも必要な部分しか見る人はいないのでトップに大きく見出しを作る等とにかく目に止まらせる必要があると思います。

地域学習館利用の際、朝早くから並んだりせずに申し込みができるようになると良いのですが。

高齢者の家庭を個別訪問し、ニーズを直接きいて、積極的に参加を呼びかけて、第1歩の歩み出しをうながす。それを地道のつみかさねる。専門的知識技能を持つ人・好きなこと・特技を持つ人のデータバンクを作り、教える方・指導する人・協力者・活動補助者をたくさんつくる。

市内の小・中学校のグラウンドを中・高年にも開放してもらいたい

企業やサークルなどが既に楽しいイベントをしています。そこに担当職員が参加者として赴き、一緒に楽しむ中で評価することを続けていけばかなり人脈は広がると思います。足でかせぐべきです。

生涯学習なんてかたすぎて興味が沸かない

お世話様です。市で色々な事を考えてくださることを感謝致します。今は、仕事をしていて何かしたくても、自分の時間と学習の時間の曜日・時間がうまく合わず出来ない事が残念に思う。仕事から離れた時には立川市の生涯学習に参加していけると楽しみにしております。ますますのご活躍を期待しております。ありがとうございます。

生涯学習が有ることは知っていましたが、自分が積極的に参加をしようとは思いませんでした。これから目を向けたいと思います。

・生涯学習なる取組みにおいて税の使われ方が不透明だ！！必要の無い市民に、押し付ける様な事はやめてほしい！！必要な市民から金を取ってやれば良い事。趣味や学習は個人の問題だ。好きなヤツは金を出してでもやる。無駄な金を使うな！！

学んだ事をいかせるよう、もっと情報を発信して下さい。

近年、立川市内でも問題化しているように、少子・高齢化・核家族化による老人の孤独死や、いわゆる「老→老介護」・「介護離職」・「介護疲れによる殺人・心中」などの悲劇が今後増々深刻化するのではないかと危惧されます。私自身の経験に照らしても、例えば認知症の在宅介護は24時間365日、何年間も一時も目が離せず、素人には対応も難しいものであり、心身ともに極めて過酷なものです。介護保険も我家の場合は役に立ちませんでした。制度の内容が、認知症の症状への臨機応変な対応という点で機能していないと感じました。そこで、老人や病人等の要介護者を抱える市民のために、在宅介護に当たっての心得や知識、具体的な方法論や技術等を学ぶとともに、公的な援助の受け方や専門病院・施設の探し方も学べるような機会が、是非とも必要であると思います。また、誇りを持って職務に当たれるような、介護のエキスパートを養成する機関が、もっと必要になるのではないのでしょうか。

私は、健康のためにサイクリングをしています。(ゆっくり走っています)車道のはじめのことですが溝の段差を無くす努力をして下さい。舗装する業者に強く申し入れして下さい。白線をあと10cm車道側へ引いてほしい。

足腰が弱くなり学習場所が近くにあると良い

アンケートを取るという事はとてもよい事だと思う。しっかり活かして下さい。又、市の広報をよく読むべきを、痛感しました。

アンケート用紙に記入されている事以上は、考えがうかびません。

アンケートの説明は大きな文字で読みやすかったのが良かったが、アンケートになると文字が小さくてとも答えづらく大変でした。余白が沢山あるのでもう少し大きな文字にしたほうが親切若い人ばかりではないと思うので。メガネはかけて答えました。イライラしてきます。

現在は仕事中心の生活ですが、立川市の生涯学習への取り組みには大変高く評価しております。

立川市の問題というより社会的な問題と思いますが、一部の大企業やある程度の給与の保証されている公務員以外の中小企業で働く人々にとって朝から晩まで働き、休みもろくに取れず給与も上がらない状態で生涯学習などとゆとりのある生活を送れる方々は選ばれた人達だと思います。まず時間や費用に余裕が持てるような格差社会の是正や低所得者層へのフォローなどを国や地方公共団体の方々にもっと真摯に取り組んでいただき、一般市民の生活の質を向上させる事がまず最低限必要な事ではないのでしょうか？

私は今、「ソーパークーピング」という講座をカルチャーセンターで学んでいます。教室以外に皆で気軽に集まってできるお部屋を借りたり、作品を展示したりできる場所がもっとあればいいなと思います。

例えば14時～17時までの間でもいいので、その時間帯の中で託児付きの文化系の講座があれば。乳幼児でない幼稚園児を持つ親が育児のストレス発散、生きがい作りに楽しく参加できるのではないかと考えますが・・・ 予算的に習い事も増やせず不定期にイベントがあれば大変助かります。

立川市で行っている水彩画講座がありましたら、ぜひやってみたいと思います。発表の場などありましたら、公報で知らせてほしいと思います。

単身者はなかなか情報を得られない。インターネット(立川市のHP)などで情報が得られるとありがたい。情報誌もPDFなどでみられると良いと思う。

・無料講座が多く有れば良い ・人数も多く(1つの講座の)してほしい

仕事一筋にきたものにとって、何をしたらよいか。何が自分に必要なのかを整理して話を聞いてくれるカウンセラーがあると良い(他人まかせだろうか?)

広い立川市で公的施設が遠方で使用実績がありません。身近に施設がないので学習意欲も出ません。近場での学習場所があるとよいのですが。学校内の部屋(会議室etc)を地域の人々にも開放してほしいと思います。

子連れOKの教室を開いてほしい。月2~3回のヨガ教室や赤ちゃんとママのスイミングなど。体が動かせるものがあります。

私共の年齢は定年後に時間ができた時に生涯学習を考えているアナログ人間である我々世代にも情報が通わる様にしてほしい。情報弱者になりそうでこわい。紙代etcが大変ならば、例えば自治会の回覧にも情報を流してほしいです。

私は幼稚園児と中学生を育てている主婦ですが、ただ家庭に配布されるチラシやパンフレットだけではなく園や学校を通じて立川市でのさまざまな学習の案内がされればもっと身近に感じられ必要とされる学習に目が向くのではないかと思います。プリント等で手元に届けられれば必ず見ます。(学校からのものは)パソコンは時間に余裕がないとなかなか見ません。まだまだ私のまわりにはパソコンを使わない方もいらっしゃいます。(持っているけれども)

自営業の者にも資格を取る際の補助があるとありがたいです。

現在は病気の子供がいる為無理ですが、情報の必要性は感じています。出来れば現在以上に市民の目にとまる又、わかりやすい表現法などでの発信を期待したいと思います。

たまがわみらいパークで行われるイベントに参加したいが、駐車場がないので、なかなか行きづらい。(限りなく武蔵村山に近い立川なので..)自転車で行くには遠すぎるし、バスを乗りつぐのも子供3人連れていると大変で..。私が知らないだけかもしれないが、北口の施設でも同じようなイベント(講座)をやってほしい。

夫婦で参加したいけど交通費がかかる夫は70才すぎてるけど課税越えてる私も60代なのでバス代だけでも2人1,000円で大きいです。本の少しの額なのに...125万以下せめて150万にしてほしいこのままだと生きている限りズットバス代かかるので 学習はしてみたいけど近くなら行ってみたい...このまま年を重ねて何もしないで年をとる事がこわいのもっと考えてほしいです。上砂に近い所で出来る事を願っています。

立川市に居住してまで期間が短かくわからない

主婦はなかなか夜は出かけられません。昼間パートに出ているとそういった機会はあまりなく、家族の理解がないとないと土・日も出られない状態です。また主人も趣味の講座に出たいとのことですが、内容と時間が一致せずなかなか参加できていません。もし良いものがあったら、広報などを毎日(?)よく目を通し機会をみつけて参加したいと思います。

生涯学習情報(講座内容・日時・申し込み方法など)だけが載っているパンフレットのようなものを、市報と一緒に配布してほしい。

「きらり・たちかわ」いつも読んでいます。高校生の息子と一緒に講座には参加しています。「あるコピーライターの伝え方」に参加したいと考えていましたが、同じ日の「前立腺がんの早期の発見と治療」の市民公開講座に参加するので、受講できずに残念です。文章を書くことが苦手な息子です。なので冬休みや夏休みに、また同じ講座をやってほしいです。

図書館の開館時間をもっと長くしてほしい。(19時までだと、仕事帰りに寄ることができないので…)

大正琴の講座、民謡などがあったら良いと思う。

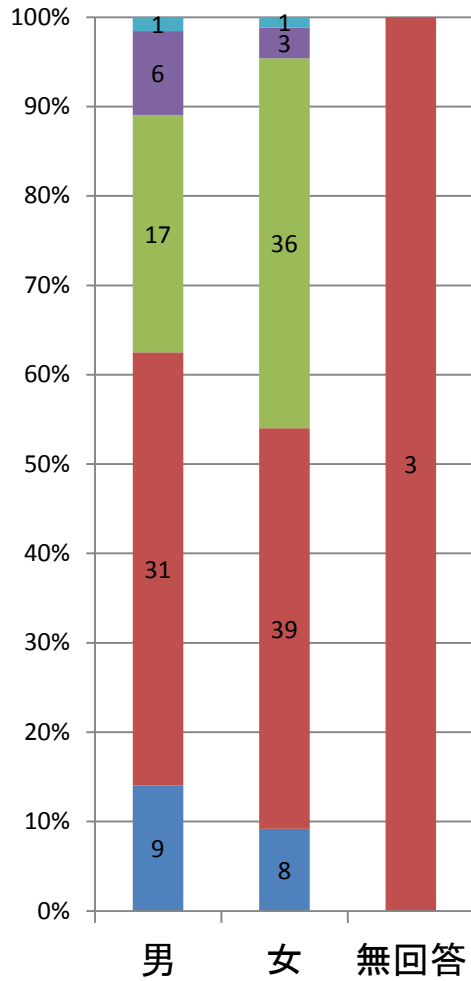
好きな事に対するこだわり。生涯学習と身がまえるのではなく、好きな事の知識を持って、より好きになるという事だと思います。酒を一例にとると。ワイン・ウイスキー・日本酒・カクテル・焼酎など様々ありますが、高価なお酒を1人で飲む事はできないので、1ボトルを20人で割り、味も知るといような。その際、テイasting・ノート(売ってはいるのですが)の様な、シートを作っていると、手ブラで行けます。つまみ、自参で。市に、やってもらいたい事。格安のスペースの提供。駅改札付近などでのチラシ。(人員が集まり次だいかいさつとかでも良いと思う。)1000円以内ぐらいでの参加費用(その集まりから、サークルなどができるといいと思う。)開催時には、専門家がいる事。気軽な事。(1時間くらい散歩に行く様な。)2020年に、東京オリンピックが開催です。立川は、東京都の一つなので、より豊かな知識を市民が得る事は、末端から東京のクオリティを高める事だと思います。子供に関していえば、興味を持たせる事。興味を持ったなら、全力でサポートをする事で有能な人物が育つと思います。

グラウンド予約でいつも抽選もれで、今では申し込みすらしなくなった。もっとグラウンドを(使用できる)多くしてほしい。立川はグラウンドが少な過ぎると思います。都内では、草野球がとても盛んなので、立川ももっとスポーツを盛り上げて欲しいです。それによって、若者やお年寄りの方も地域への関心が高まり、新たなつながりも増えると思います！！

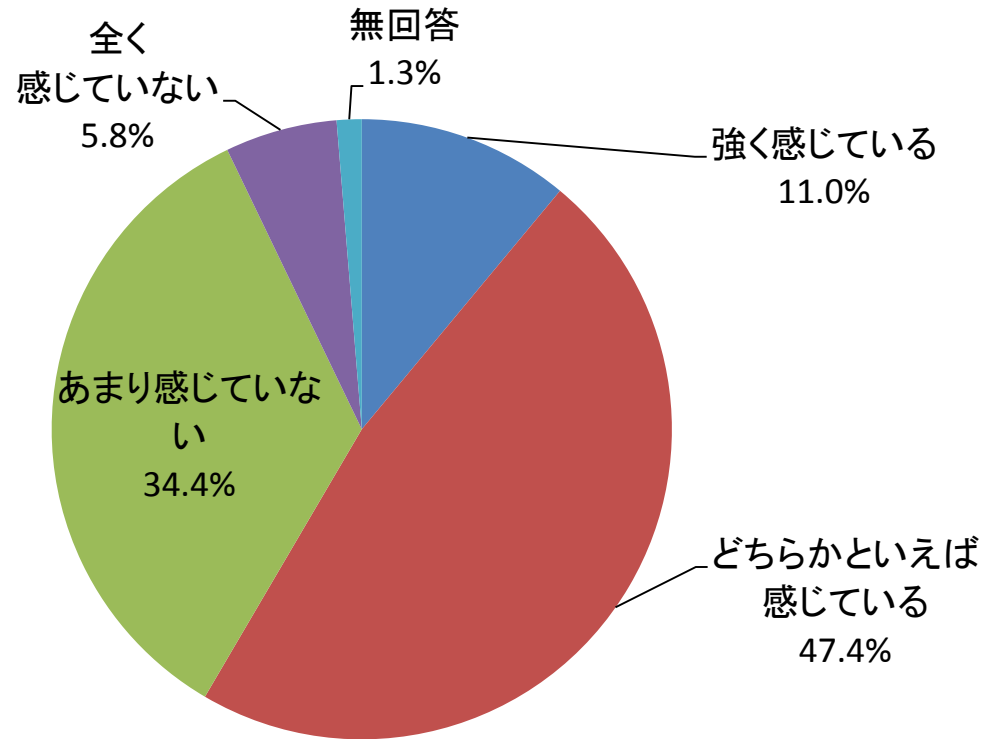
図書館を時々利用していますが、19:00で閉館するため行けないことがあり、週に1~2日は20:00や21:00まで開館しているとより便利で通勤している人ももっと利用できると思います。最近図書館に民間のカフェや書店を併設するといったニュースも聞きますが、立川市でも導入していただけるとよいです。

今は自身具合悪く参加できないが元気になったら参加したい

<参考>「この1年間、生涯学習をしたことがない」人と「生涯学習の必要性」の関係

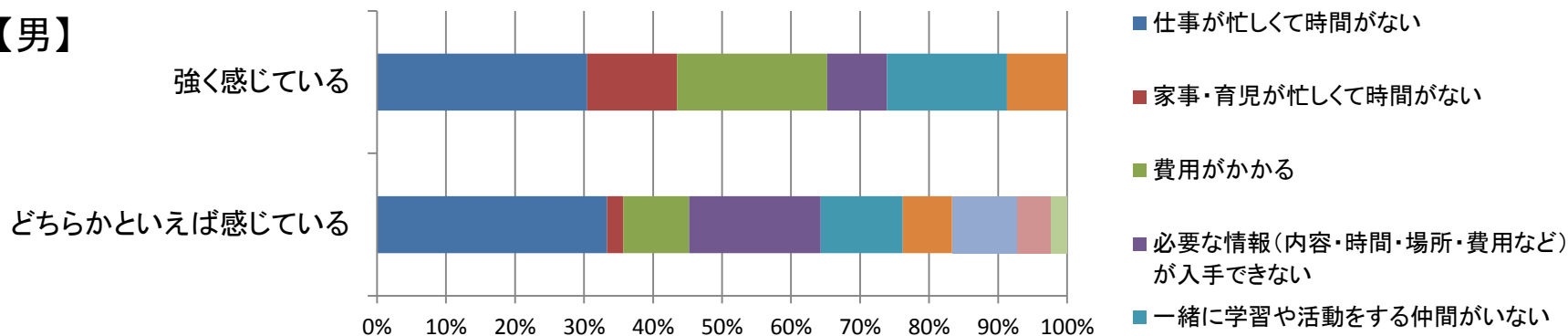


【全体】

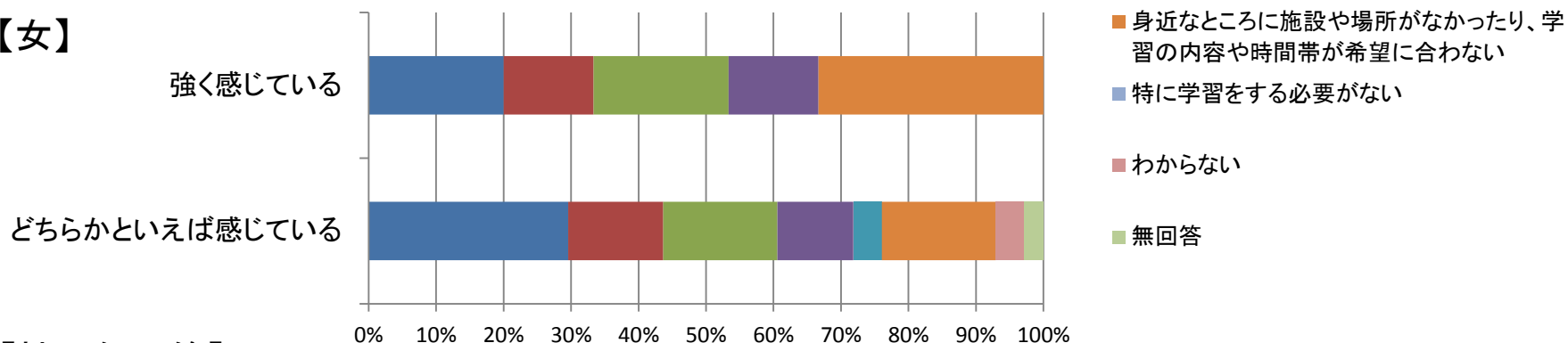


<参考>「この1年間、生涯学習をしたことがない」人の「生涯学習をする必要性」と「生涯学習をしなかった理由」の関係

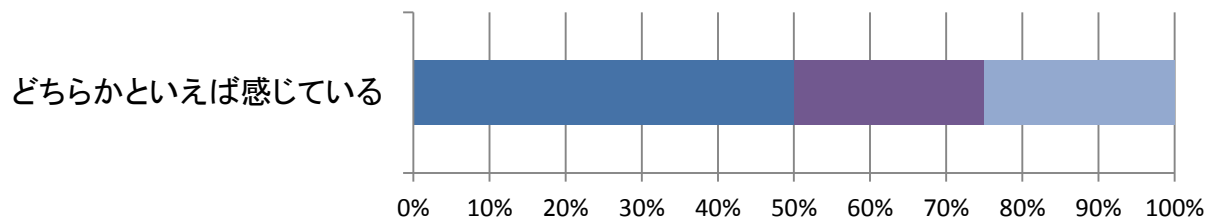
【男】



【女】

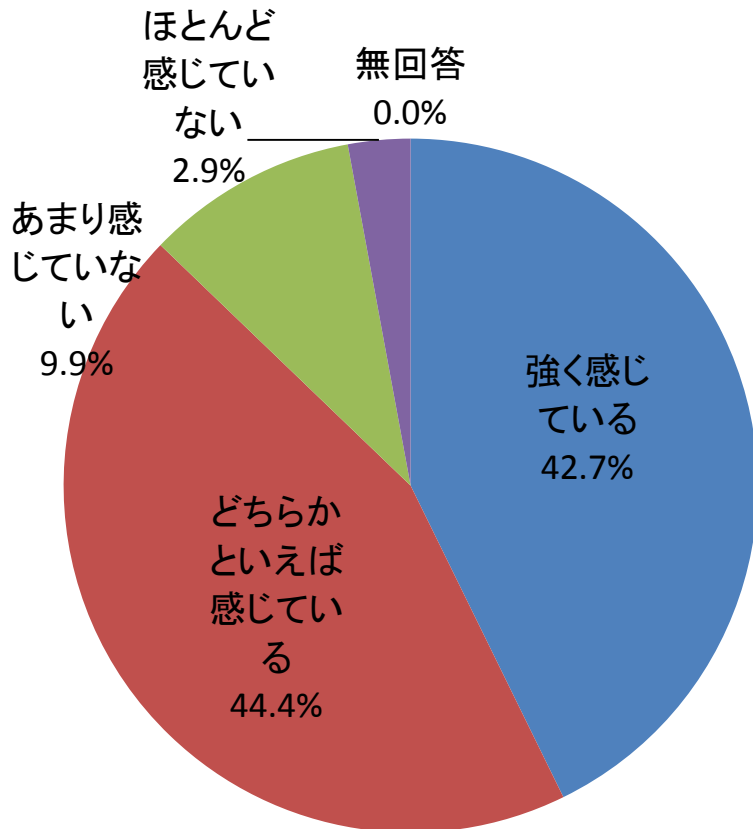


【性別無回答】

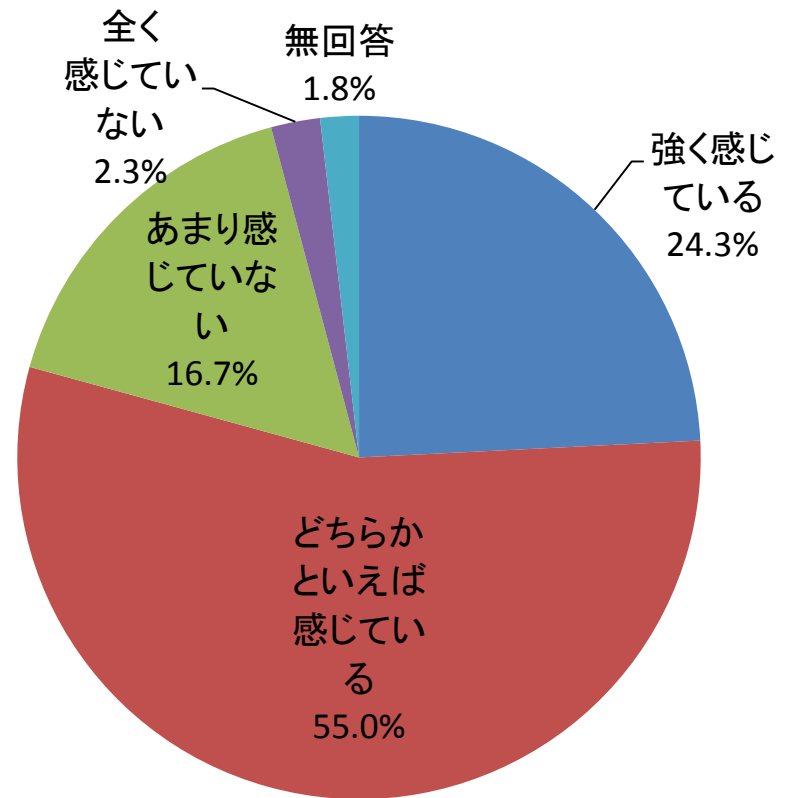


<参考>「生涯学習をする必要性」についての意識の変化

【平成21年10月】



【平成25年10月】



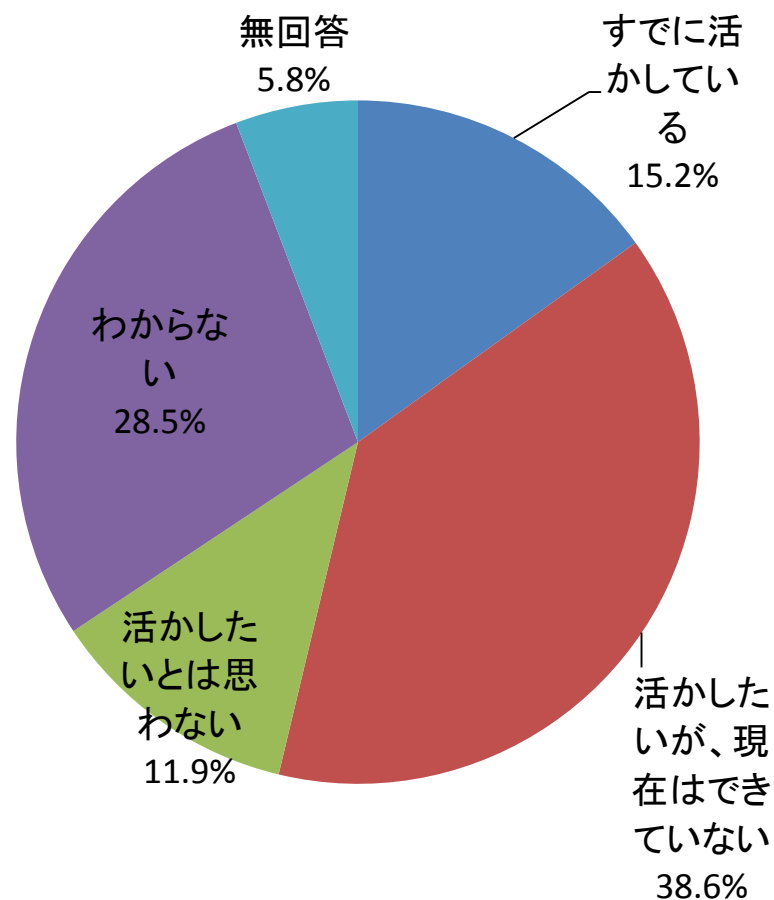
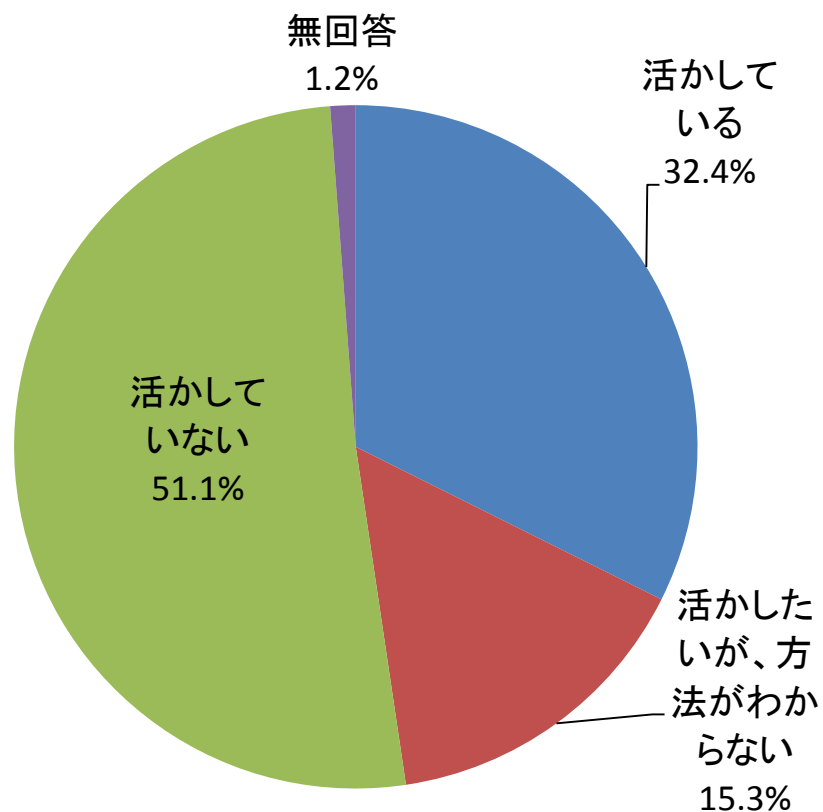
※生涯学習に関する市民意識調査 n=171

生涯学習をする必要性があると感じている市民は、4年の間に 87.1% から 79.3% へ減少した。

<参考>「学習成果の地域還元」についての意識の変化

【平成18年10月】

【平成25年10月】



※市民アンケート～行政評価指標補完調査～」 n=170
ただし、「市が主催している学習活動に参加したことがある」と回答した市民

学んだ成果を地域や社会に活かしたいという意向のある市民は、47.7% から 53.8% に増加した。